

青森市総合計画  
前期基本計画

フォローアップ表

第3分科会 <まちをデザインする>



新たな総合計画の行政分野から見た現総合計画との対比表

新たな青森市総合計画		現青森市総合計画									
分科会	行政分野	章	節	項（施策名）							
第1へ仕事をつくる	産業・雇用	1	しごと創り	1	産業の振興・雇用対策の推進	1 地域ベンチャー支援の推進	2 地域資源を活かした産業の育成	3 個性と魅力ある商店街の形成	4 雇用対策の推進		
	観光				3	観光の振興・誘客の推進	1 広域観光の推進	2 観光資源の充実	3 受入態勢の強化		
	農林水産						2	農林水産業の振興	1 あおり商品の販売力の強化	2 農林水産業の経営体質の強化	3 農林水産業の生産・流通基盤の維持・強化
	その他								3	まち創り	1 地域内連携・広域連携の推進
第2へ人をまもり・そだてる	子育て支援	2	ひと創り	1 子ども・子育て支援の充実	1 切れ目のない子育て支援	2 子ども支援の充実					
				スポーツ	3	スポーツの推進	1 教育環境の整備	2 教育活動の充実			3 教育支援の充実
							健康づくり	4	やさしい街	1 保健・医療の充実	1 スポーツ人口の拡大
	障がい者福祉	3	障がい者福祉の充実							1 健康寿命の延伸	2 感染症対策の充実
				高齢者福祉	2	高齢者福祉の充実				1 障がいのあるかたの地域生活支援の充実	2 障がいのあるかたの自立した生活の確保
	男女共同参画	3	まち創り				1 地域包括ケア・生きがいづくりの推進	2 適正な介護サービスの提供			
				防災・雪対策 (地域防災・克雪体制)	5	つよい街	1 防災体制・雪対策の充実	1 市民防災の促進	3 克雪体制の整備		
	その他	2	ひと創り				2 教育の充実	4 社会教育の推進			
				3	まち創り	4 文化芸術の推進	1 文化芸術活動の推進	2 文化芸術資源の継承			
		4	やさしい街			2 安全・安心な市民生活の確保	1 交通安全対策の推進	2 地域防犯対策の推進	3 安全・安心な消費生活の確保		
3 ユニバーサル社会の形成				2 互いを尊重し支え合う社会の形成	3 平和意識の醸成						
第3へまちをデザインする	文化	2	ひと創り	4	文化芸術の推進	3	文化財の保存・活用				
	市民協働	3	まち創り	1	地域内連携・広域連携の推進	1	地域の個性を活かしたまちづくり				
	まちづくり	5	つよい街	2	土地利用・都市景観の形成	1 効率的で計画的な土地利用の推進	2 自然環境と調和した都市景観の形成	3 安全で快適な住まいの確保			
						3	交通インフラの充実	1 広域交通の充実	2 域内交通の充実	3 快適な道路交通環境の確保	
								1	防災体制・雪対策の充実	2 災害防止対策の推進	3 克雪体制の整備
	環境	6	かがやく街	1 豊かな自然環境の保全	1 陸奥湾資源の保全					2 豊かな森林の保護	3 再生可能エネルギーの導入・省エネ活動の促進
				3	廃棄物対策の推進	1 適正な生活環境の確保	1 適正な汚水排除・処理の確保	2 公害対策の推進	3 衛生的な生活環境の確保		
			2 快適な生活環境の確保			2 公衆衛生の確保	3 衛生的な生活環境の確保				
			2 適正な生活環境の確保	1 ごみの減量化・リサイクルの強化	2 適正な廃棄物処理の確保						



## 第3分科会 <まちをデザインする>

### 【行政分野】

## 文化

【前期基本計画における施策数】 1

2-4-3 文化財の保存・活用

フォローアップ表 「3 前期基本計画 目標値に対する実績値の状況」の達成度評価の説明

- |             |                                     |
|-------------|-------------------------------------|
| A : 順調      | … 実績値がその年度の目標値を 100%以上達成            |
| B : 概ね順調    | … 実績値がその年度の目標値を概ね (75%以上 100%未満) 達成 |
| C : やや遅れている | … 実績値がその年度の目標値の 50%~75%未満           |
| D : 遅れている   | … 実績値がその年度の目標値の 50%未満               |

### 1 施策の基本情報

基本政策	第2章	ひと創り	主たる担当部局 教育委員会事務局
政策	第4節	文化芸術の推進	
施策	第3項	文化財の保存・活用	

### 2 施策の方向性（前期基本計画の抜粋）

文化財を適切に保存・管理していくとともに、観光資源として活用を図ります。

### 3 前期基本計画 目標値に対する実績値の状況

指標①	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
文化財を展示及び活用した施設の入館者数	文化財を展示及び活用した各施設の入館者数の合計	+	H29 48,377 人	目標値		48,800	49,000	49,200	49,400	49,600
				実績値	49,773	48,266	20,391	29,213	37,813	
分析	新型コロナウイルス感染症の影響により、文化財を展示及び活用した施設の入館者数は37,813人となり、目標値を下回りました。			達成度評価	<p>文化財展示・活用施設入館者数</p>					

指標②	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析				達成度評価						

指標③	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析				達成度評価						

指標④	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析				達成度評価						

指標⑤	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析				達成度評価						

4 市民意識調査

設問

あなたは、「北海道・北東北の縄文遺跡群」として世界遺産に登録された三内丸山遺跡や小牧野遺跡に行ったことがありますか。

区分	R1	R2	R3	R4	R5
いずれにも行ったことがある	18.1	18.9	18.1	16.3	20.0
三内丸山遺跡には行ったことがある	60.9	61.6	62.0	60.0	58.4
小牧野遺跡には行ったことがある	1.0	1.0	0.6	0.9	1.2
いずれにも行ったことがない	19.7	17.4	18.6	22.5	19.1
無回答	0.4	1.0	0.7	0.3	1.2

設問

区分	R1	R2	R3	R4	R5

5 主要な事業の成果（令和4年度）

主要事業名	決算額 (千円)	成果の説明	評価指標	実績値				
				H30	R1	R2	R3	R4
高屋敷館遺跡管理事業	1,442	令和元年度からの一般公開を受け、雑草木の刈払いを行うとともに、遺跡の保全状況を確認するための巡回を定期的に行いました。	管理 巡回回数 単位 回	-	10	10	10	8
世界遺産保存・活用事業	221	小牧野遺跡の遺構や環境などの経過観察を実施することにより、遺跡の適切な保存が図られています。	遺跡の経過観察の実施 単位 %	-	-	100	100	100
青森市小牧野遺跡保護施設企画運営事業	660	小中学校へのPRや幅広い層の来館を促すイベントの実施などの取組を通じて、入館者は増加してきていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度の入館者数は減少し、令和3年度以降については、小牧野遺跡の世界遺産登録の効果により、目標値を上回る実績値となりました。	縄文の学び舎・小牧野館の来訪者数 単位 人	18,300	16,765	9,458	14,159	18,596

6 施策の総合評価（主たる担当部局）

文化財を展示及び活用した施設の入館者数の令和4年度実績値が37,813人となっており、目標値を下回りましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により減少した令和2年度より回復傾向にあることから、施策の方向性に寄与しています。

また、市民意識調査では、世界遺産に登録された三内丸山遺跡や小牧野遺跡に行ったことがあるかについて「いずれにも行ったことがある」「三内丸山遺跡に行ったことがある」「小牧野遺跡に行ったことがある」と回答した割合が79.6%となっており、令和元年度からほぼ横ばいの傾向にあることから、引き続き、継続した取組が必要です。

7 課題及び目指すべき方向性（主たる担当部局）

（課題）  
本市が所管する史跡や埋蔵文化財包蔵地からの出土品及び歴史民俗資料等を適切に保存・管理しながら、展示施設における魅力的な展示、イベントへの積極的利用に努めることなどで、引き続き文化財の保存・活用に取り組む必要があります。

（目指すべき方向性）  
文化財を適切に保存・管理していくとともに、観光資源として活用を図ります。



## 【行政分野】

### 市民協働

【前期基本計画における施策数】 1

3-1-1 地域の個性を活かしたまちづくり

### 1 施策の基本情報

基本政策	第3章	まち創り	主たる担当部局	
政策	第1節	地域内連携・広域連携の推進	市民部	
施策	第1項	地域の個性を活かしたまちづくり	関連部局	
			福祉部・浪岡振興部	

### 2 施策の方向性（前期基本計画の抜粋）

若い世代をはじめとした地域活動の担い手の育成を支援するとともに、行政のみならず、多様な主体の連携・協働により、多様化・複雑化する地域課題の解決を図り、地域の個性を活かしたまちづくりを進めます。

### 3 前期基本計画 目標値に対する実績値の状況【◎印は青森市総合戦略2020-2024の指標も兼ねる】

指標①	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
市民活動団体との連携事業数◎	市が市民活動団体と連携して実施した事業数	+	H29 30 件	目標値		32	33	34	35	36
				実績値	31	32	25	24	28	
分析	新型コロナウイルス感染症の影響により、市民活動団体との連携事業数は28件となり、目標値を下回りました。			達成度評価	B					

指標②	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析				達成度評価						

指標③	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析				達成度評価						

指標④	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析				達成度評価						

指標⑤	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析				達成度評価						

4 市民意識調査

設問

あなたは、この1年間に、NPOやボランティア、町(内)会などの社会活動に参加したことがありますか。

区分	R1	R2	R3	R4	R5
参加したことがある	21.7	15.7	15.2		
1年間ではないが、参加したことがある		17.6	19.7		
参加したことはない	41.4	36.0	37.3		
参加したいと思わない	36.1	29.8	27.2		
無回答	0.9	0.9	0.6		

設問

区分	R1	R2	R3	R4	R5

5 主要な事業の成果（令和4年度）

主要事業名	決算額 (千円)	成果の説明	評価指標	実績値				
				H30	R1	R2	R3	R4
福祉館改築事業	143,967	青森市ファシリティマネジメント推進基本方針に基づき、施設機能の集約化や周辺既存施設との複合化などによる公共施設の老朽化対策に取り組んだ結果、片岡福祉館の建て替えが完了したほか、滝内福祉館について改築に向けた新施設的设计及び旧施設の解体工事に着手しました。	建て替えに着手した福祉館の数 単位 館	-	-	2	1	1
浪岡地域力活性化事業	266	なみおか未来創造会議からの意見を踏まえ、浪岡城跡を中心としたリーフレットの原案制作や、なみおか健康フェアを開催しました。	なみおか未来創造会議と連携した事業数 単位 件	-	-	-	0	2
町会活動支援事業	47,997	「町会地域活動費助成金」は408町(内)会のうち403町(内)会が活用、また「地域市民館運営助成金」では、対象111町(内)会中、110町(内)会が施設運営のために活用しており、町(内)会による地域活動が活発に行われています。	地域のための公益的な活動が行われた町(内)会数 単位 町会	400	402	401	397	403
まちづくり寄附制度推進事業	655,159	全国の個人及び企業・団体から合計50,758件、655,159,147円の寄附を受け入れ、本市のまちづくりを応援していただきました。また、寄附者へ本市特産品を進呈することで、地場産品の販売促進に貢献しました。	寄附件数(個人及び企業・団体からの寄附件数合計) 単位 件	11,217	18,533	40,317	49,025	50,758

6 施策の総合評価（主たる担当部局）

「地域の個性を活かしたまちづくりに向けた助成金の交付」や「活動拠点となる地域の福祉館や市民館の利用環境の改善」を通じて地域活動の促進に取り組みましたが、新型コロナウイルスの影響で事業実施が図られず、令和4年度における「市民活動団体との連携事業数」は28件と低迷しています。

令和5年度の目標である36件に向けては、コロナ禍からの回復に向けて再開の機運や期待の高まりがみられ、相応の連携事業の実施が見込まれること、また、主要な事業の成果は、いずれの事業も実績値が順調に推移しており、施策の方向性である「多様な主体の連携・協働による地域の個性を活かしたまちづくり」に寄与していると考えます。

7 課題及び目指すべき方向性（主たる担当部局）

(課題)  
 施策評価の結果及びコロナ禍からの地域活動の回復を確かなものとし、地域課題の解決に多様な主体の力を発揮してもらうため、地域における担い手の育成や活動拠点となる福祉館等の利用環境向上により地域の個性を活かしたまちづくりに引き続き取り組む必要があります。

(目指すべき方向性)  
 人口減少・少子高齢社会の中で、地域課題の解決と地域の個性を活かしたまちづくりのためには、地域活動の担い手の育成と多様な主体の連携・協働は不可欠なものであるため、より効果的な支援制度の運用に留意しながら、町(内)会をはじめとする地域コミュニティ活動の活性化を支援していきます。



## 【行政分野】

### まちづくり

#### 【前期基本計画における施策数】 6

- 5-2-1 効率的で計画的な土地利用の推進
- 5-2-2 自然環境と調和した都市景観の形成
- 5-2-3 安全で快適な住まいの確保
- 5-3-1 広域交通の充実
- 5-3-2 域内交通の充実
- 5-3-3 快適な道路交通環境の確保

### 1 施策の基本情報

基本政策	第5章	つよい街	主たる担当部局 都市整備部 関連部局 -
政策	第2節	土地利用・都市景観の形成	
施策	第1項	効率的で計画的な土地利用の推進	

### 2 施策の方向性（前期基本計画の抜粋）

適正な土地利用を推進するとともに、公共交通ネットワークとの連携と医療・商業等の都市機能の立地の促進により、コンパクトな複数の拠点づくりを進めます。

### 3 前期基本計画 目標値に対する実績値の状況【◎印は青森市総合戦略2020-2024の指標も兼ねる】

指標①	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
居住誘導区域内の居住人口密度◎	居住誘導区域内の1ha当たりの居住人口密度	+	H30 52.1 人/ha	目標値		51.8	51.4	51.1	50.7	50.4
				実績値	52.1	51.8	51.3	50.8	50.2	
分析	居住誘導区域内の居住人口密度は50.2人/haとなり、目標値を下回りました。			達成度評価	<p>居住誘導区域内の居住人口密度</p> <p>100.0 0.0</p> <p>H30 R1 R2 R3 R4 R5</p> <p>■ 実績値 ● 目標値</p>					

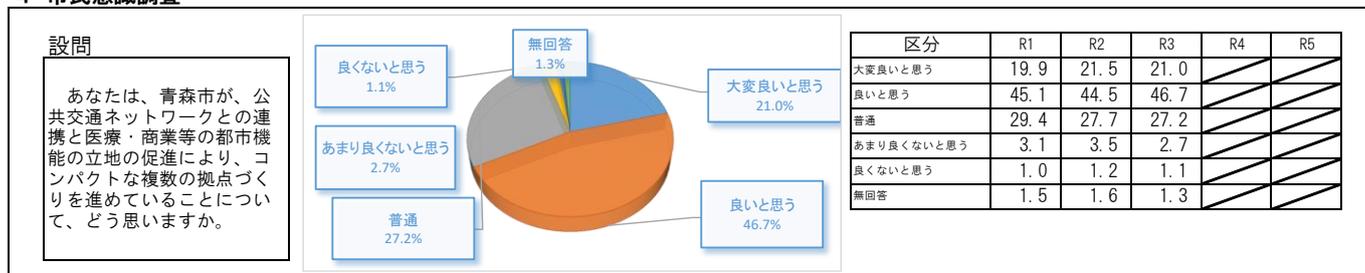
指標②	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析				達成度評価						

指標③	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析				達成度評価						

指標④	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析				達成度評価						

指標⑤	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析				達成度評価						

## 4 市民意識調査



## 5 主要な事業の成果（令和4年度）

主要事業名	決算額 (千円)	成果の説明	評価指標	実績値				
				H30	R1	R2	R3	R4
青森操車場跡地周辺整備推進事業	252,792	「青森市アリーナプロジェクト」の実施などを踏まえた「青森操車場跡地利用計画」に基づき、操車場跡地の利活用を進めるため、東西用地において、多目的に利用できる広場や緑地、既存道路の拡幅等の整備を実施しました。	-	-	-	-	-	-
新町一丁目地区優良建築物等整備事業	539,800	老朽化した大規模小売店舗と飲食店舗、空地を共同化・集約化し、魅力的な商業施設と集合住宅による複合施設、駐車場を一体的・効率的に整備する事業を支援し、令和5年3月に事業が完了しました。	-	-	-	-	-	
中新町山手地区第一種市街地再開発事業	461,200	老朽化した中小小売店舗や飲食店舗、事務所等を共同化・集約化し、土地利用の高度化を図ることにより、魅力的な商業空間の形成と事務所やホテル、集合住宅を整備する事業を支援しました。	-	-	-	-	-	

## 6 施策の総合評価（主たる担当部局）

主要な事業に取り組んだ結果、青森駅周辺地区では自由通路及び西口駅前広場の供用開始や民間による再開発事業が進むなど、効率的で計画的な土地利用が推進されており、いずれの事業も施策の方向性に寄与しています。

「青森駅周辺地区」では、新町一丁目地区優良建築物等整備事業を支援することにより令和5年3月に事業が完了しており、引き続き、令和6年度の供用開始を目指し駅ビル内自由通路の工事を進めるとともに、中新町山手地区第一種市街地再開発事業の支援を行います。

「青森操車場跡地周辺地区」では、「青森操車場跡地利用計画」に基づき、青森市総合体育館及び青い森セントラルパークの令和6年7月の供用を目指し整備を進めるとともに、多目的に利用できる広場や緑地、既存道路の拡幅等の周辺整備についても、体育館の供用開始と同時期の供用を目指して整備を進めます。また、青い森鉄道線への新駅設置に向けて、引き続き、県や関係機関と協議をしていきます。

## 7 課題及び目指すべき方向性（主たる担当部局）

（課題）

基本理念を『「コンパクト・プラス・ネットワーク」の都市づくり』と定め、都市の効率性を高めるコンパクトな拠点づくりと、それらの拠点を接続する公共交通ネットワークを有機的に連携させることにより、市内各地域の特色を生かしつつ、持続可能な都市づくりを目指していく必要があります。

（目指すべき方向性）

適正な土地利用を推進するとともに、公共交通ネットワークとの連携と医療・商業等の都市機能の立地の促進により、コンパクトな複数の拠点づくりを進めます。

### 1 施策の基本情報

基本政策	第5章	つよい街	主たる担当部局
政策	第2節	土地利用・都市景観の形成	都市整備部
施策	第2項	自然環境と調和した都市景観の形成	関連部局 農林水産部

### 2 施策の方向性（前期基本計画の抜粋）

都市景観に関する意識醸成や緑化活動の推進などにより、市民・事業者・行政が一体となって、豊かな自然環境と調和した良好な都市景観の形成を図ります。

### 3 前期基本計画 目標値に対する実績値の状況

指標①	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
緑化活動団体数	自主的に緑化活動を行っている年間の団体数	+	H30 76 団体	目標値		76	76	76	76	76
				実績値	76	79	79	81	78	
分析	緑化活動団体数は78団体となり、目標値を上回りました。			達成度評価	<p>緑化活動団体数</p> <p>100 0</p> <p>H30 R1 R2 R3 R4 R5</p> <p>■ 実績値 ● 目標値</p>					

指標②	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析				達成度評価						

指標③	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析				達成度評価						

指標④	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析				達成度評価						

指標⑤	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析				達成度評価						

4 市民意識調査

**設問**

あなたは、この1年間に、道路の草取り・清掃や側溝の泥上げ、また公園の草取り・清掃や花植えなど、公共インフラの維持管理活動に参加したことがありますか。

参加したことがある	17.0%
この1年ではないが、参加したことがある	19.3%
参加したいと思っているが、参加したことはない	34.4%
参加したいと思わない	23.0%
その他	2.0%
無回答	4.3%

区分	R1	R2	R3	R4	R5
参加したことがある	25.7	18.3	17.5	17.5	17.0
この1年ではないが、参加したことがある	16.0	16.8	17.7	17.9	19.3
参加したいと思っているが、参加したことはない	33.8	37.3	36.6	34.3	34.4
参加したいと思わない	22.0	23.3	24.0	23.4	23.0
その他	1.6	2.9	3.1	3.8	2.0
無回答	0.9	1.4	1.1	3.0	4.3

**設問**

区分	R1	R2	R3	R4	R5

5 主要な事業の成果（令和4年度）

主要事業名	決算額 (千円)	成果の説明	評価指標	実績値				
				H30	R1	R2	R3	R4
パートナーシップ花いっぱい事業（連携）	2,295	地域と連携して、緑と花の普及活動に取り組んだ結果、花だんづくりなど自主的に緑化活動を行う団体の多くが、継続的に活動しているという一定の成果が得られています。	緑化活動団体数 単位 団体	76	79	79	81	78
景観形成推進事業	104	市長の諮問に応じ、良好な景観の形成に関する事項を調査審議するため、青森市景観審議会を開催し審議を行い、意見を計画に反映しました。	青森市景観審議会での審議案件数 単位 件	4	2	3	1	2
屋外広告物関係事業	267	パトロール及び違反広告物の簡易除却を実施したことで違反広告物は減少しており、良好な景観形成に向けた一定の成果が出ています。	簡易除却対象違反広告物数 単位 件	58	79	87	171	119

6 施策の総合評価（主たる担当部局）

施策の指標である緑化活動団体数については、自主的に緑化活動を行う団体の多くが、継続的に活動しているという一定の成果が得られており、地域と連携した緑と花の普及活動が、施策の方向性に寄与していると考えます。また、屋外広告物の許可制度と屋外広告物の登録・届出制度にかかる事務及び届出を要する行為（一定規模を超える建築物の新築等）の届出に関する事務や青森市景観審議会による公共事業の景観審議に取り組むことで、豊かな自然環境と調和した良好な都市景観の形成に努めています。

7 課題及び目指すべき方向性（主たる担当部局）

**（課題）**  
 自然環境と調和した都市景観の形成は、大規模な建築物や屋外広告物の規制・誘導に関する事務や緑と花の普及活動など、継続的な取組により効果を得られるものであり、今後も、市民に対しての都市景観に関する意識醸成や緑化意識の啓発、また地域住民による緑化活動の支援を継続する必要があります。

**（目指すべき方向性）**  
 都市景観に関する意識醸成や緑化活動の推進などにより、市民・事業者・行政が一体となって、豊かな自然環境と調和した良好な都市景観の形成を図ります。

### 1 施策の基本情報

基本政策	第5章	つよい街	主たる担当部局 都市整備部 関連部局 -
政策	第2節	土地利用・都市景観の形成	
施策	第3項	安全で快適な住まいの確保	

### 2 施策の方向性（前期基本計画の抜粋）

地域特性に応じた良好な居住環境の形成を推進するとともに、安全で良質な住宅ストックや誰もが安心して暮らせる居住の安定の確保を図り、多様な居住ニーズに対応できる環境づくりを進めます。

### 3 前期基本計画 目標値に対する実績値の状況【◎印は青森市総合戦略2020-2024の指標も兼ねる】

指標①	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
居住誘導区域内の居住人口密度◎【再掲】	居住誘導区域内の1ha当たりの居住人口密度	+	H30 52.1 人/ha	目標値		51.8	51.4	51.1	50.7	50.4
				実績値	52.1	51.8	51.3	50.8	50.2	
分析	居住誘導区域内の居住人口密度は50.2人/haとなり、目標値を下回りました。		達成度評価	B						

指標②	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析			達成度評価							

指標③	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析			達成度評価							

指標④	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析			達成度評価							

指標⑤	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析			達成度評価							

4 市民意識調査

**設問**

あなたは、青森市が、市営住宅を整備し、維持管理していることについて、どう思いますか。

評価	割合
良いと思う	44.9%
大変良いと思う	21.7%
普通	28.2%
あまり良くないと思う	2.9%
良くないと思う	1.3%
無回答	1.0%

区分	R1	R2	R3	R4	R5
大変良いと思う	18.4	22.5	21.7		
良いと思う	44.6	43.5	44.9		
普通	32.2	28.9	28.2		
あまり良くないと思う	2.8	2.4	2.9		
良くないと思う	1.1	1.4	1.3		
無回答	0.9	1.2	1.0		

**設問**

区分	R1	R2	R3	R4	R5

5 主要な事業の成果（令和4年度）

主要事業名	決算額 (千円)	成果の説明	評価指標	実績値				
				H30	R1	R2	R3	R4
建築指導・相談事務	994	建築物を建築する場合の確認申請や完了検査について、安定した実績をあげています。 【参考】H26-819件 H27-684件 H28-690件 H29-573件	確認・検査済証交付件数 単位：件	724	731	658	584	588
屋根雪処理施設設置支援事業	29	本事業を市民等へ継続的に周知することにより、令和4年度は44件の実績があり、市民等による自主的な雪処理が支援されています。	貸付実行件数 単位：件	0	4	1	2	4
小柳第一団地建替事業	389,813	令和4年11月のA棟駐車場の工事完了をもって全ての建築工事が完了しました。 解体工事については旧7～10号棟の解体が令和5年3月に完了し、令和5年度に6号棟の解体が完了する予定です。	全体総事業費に対する進捗率 単位：%	41.0	48.6	56.7	92.3	98.5

6 施策の総合評価（主たる担当部局）

建築指導・相談事務、屋根雪処理施設設置支援事業では、建築確認や完了検査、屋根雪処理施設設置について一定の実績をあげています。小柳第一団地の建替事業では令和4年11月にA棟の駐車場の工事をもって全ての建築工事が完了し、また、解体工事については旧6～10号棟の解体工事を実施し、令和5年3月に旧7～10号棟の解体が完了したため旧6号棟の解体を残すのみとなっております。いずれの事業も、施策の方向性である誰もが安心して暮らせる良好な居住環境の形成に寄与しています。

7 課題及び目指すべき方向性（主たる担当部局）

（課題）  
 施策評価の結果を踏まえ、今後も、建築指導・相談事務、屋根雪処理施設設置支援事業の実施、及び公営住宅等長寿命化計画に基づいた市営住宅の適切な維持管理の実施により、地域特性に応じた良好な居住環境の形成と、安全で良質な住宅ストックや誰もが安心して暮らせる居住の安定確保に引き続き取り組む必要があります。

（目指すべき方向性）  
 引き続き適正な土地利用を促進するとともに、地域特性に応じた良好な居住環境の形成を推進しながら、安全で良質な住宅ストックや誰もが安心して暮らせる居住の安定の確保を図り、多様な居住ニーズに対応できる環境づくりを進めます。

### 1 施策の基本情報

基本政策	第5章	つよい街	主たる担当部局 都市整備部
政策	第3節	交通インフラの充実	
施策	第1項	広域交通の充実	

### 2 施策の方向性（前期基本計画の抜粋）

道路、鉄道、空港、港湾それぞれの機能充実と連携強化を図ります。

### 3 前期基本計画 目標値に対する実績値の状況

指標①	指標の説明	方向	基準値	H30	R1	R2	R3	R4	R5	
新幹線の1日当たりの乗車人数	新青森駅における1日当たりの新幹線乗車人数	+	H29 4,122 人	目標値		4,240	4,360	4,480	4,600	4,720
				実績値	4,219	4,111	1,754	2,109	3,349	
分析	新型コロナウイルス感染症の影響により、新幹線駅の1日当たりの乗車人数は3,349人となり、目標値を下回りました。			達成度評価	B					

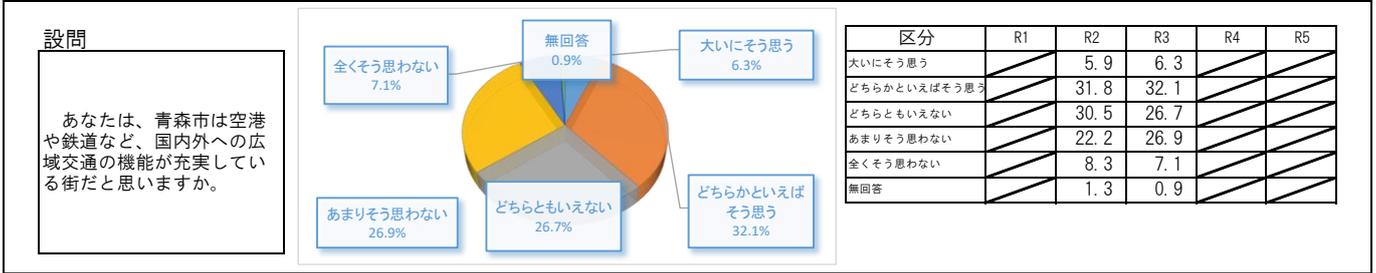
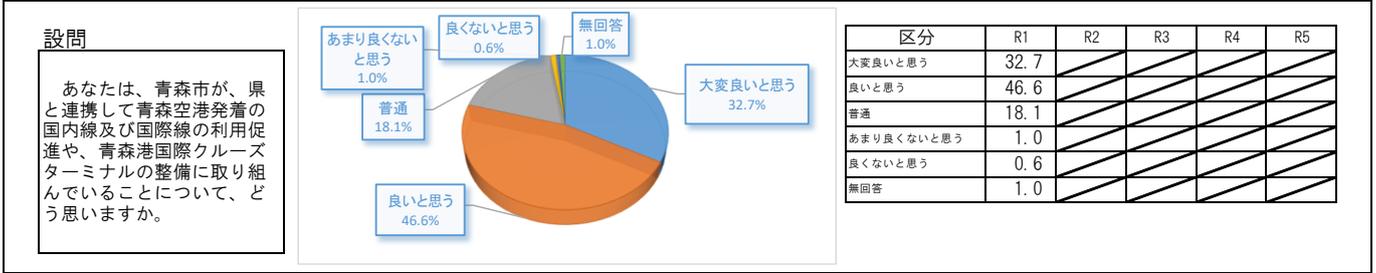
指標②	指標の説明	方向	基準値	H30	R1	R2	R3	R4	R5	
青森空港の年間旅客数	青森空港における国内外路線の年間の旅客数	+	H29 1,185,222 人	目標値		1,230,000	1,250,000	1,270,000	1,300,000	1,320,000
				実績値	1,210,342	1,195,470	334,387	498,430	981,174	
分析	新型コロナウイルス感染症の影響により、青森空港の年間旅客数は981,174人となり、目標値を下回りました。			達成度評価	B					

指標③	指標の説明	方向	基準値	H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値					
				実績値					
分析				達成度評価					

指標④	指標の説明	方向	基準値	H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値					
				実績値					
分析				達成度評価					

指標⑤	指標の説明	方向	基準値	H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値					
				実績値					
分析				達成度評価					

4 市民意識調査



5 主要な事業の成果（令和4年度）

主要事業名	決算額 (千円)	成果の説明	評価指標	実績値				
				H30	R1	R2	R3	R4
東北縦貫道八戸線建設促進期同盟会事業	0	本期成同盟会による継続的な要望活動の実施により、天間林道路が令和4年11月開通し、東北縦貫自動車道八戸線の代替路線である上北自動車道が全線開通しました。	要望活動の実施回数 単位：回	2	2	2	2	2
青い森鉄道線活用推進事業	173	青い森鉄道活用推進協議会に対し、負担金を抛出し、青い森鉄道の利用促進に向けた取組を行った結果、年間の利用者数は、国による全国旅行支援等による旅行需要の回復があったことから、令和3年度を上回ったものの、目標値は達成できませんでした。	青い森鉄道線の1日当たりの利用者数（市内駅乗降者数） 単位：人	9,496	9,363	7,899	8,517	9,010
青森空港振興・国際化事業	7,400	国内線を利用した旅行商品造成支援や就航地域における広告掲載等に取り組んだものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、青森空港の年間旅客数は981,174人となり、目標値を下回りました。	青森空港の旅客数 単位：人	1,210,342	1,195,470	334,387	498,430	981,174
青森港国際クルーズターミナル整備事業	3,079	港湾施設のPR等に取り組んだものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、クルーズ船寄港数は6回に留まったことから、目標値を下回りました。	クルーズ船寄港回数 単位：回	26	27	0	1	6

6 施策の総合評価（主たる担当部局）

令和4年度の新幹線駅の1日当たりの乗車人数は3,349人、青森空港の年間旅客数も981,174人と、いずれも目標値を下回りましたが、国における感染症対策の見直し及び全国旅行支援等により、通勤、通学需要及び旅行需要は回復傾向にあり、目標値の達成に向けて順調に推移していました。また、第二次青森空港活性化ビジョンに基づく旅行商品造成支援等の実施や港湾施設の老朽化対策、整備を促進した結果、目標値を達成又は達成に向けて順調に推移しており、また、東北縦貫自動車道八戸線期同盟会による要望活動の実施により、上北自動車道が全線開通しました。さらに、令和4年度には青森駅西口駅前広場の供用開始、浅虫温泉駅におけるバリアフリー設備整備工事（第1期）の実施など鉄道駅のバリアフリー化も進められています。このような取組の結果、施策の方向性である道路、鉄道、空港、港湾それぞれの機能充実と連携強化に寄与しています。

7 課題及び目指すべき方向性（主たる担当部局）

**（課題）**  
当該路線東北縦貫自動車道八戸線（八戸～青森間）は、県都である本市と南部地域の主要都市である八戸市を結ぶ本県の重要な路線です。本県の経済活性化と地域の発展のみならず災害時における広域的な避難や支援物資の輸送など、命の道としても重要な役割を果たすことから、残る七戸～青森間においても、引き続き関係団体と連携するとともに、事業費の一部負担などにより、早期の整備促進に努めます。  
また、国における同感染症対策の緩和及び全国旅行支援等により、旅行需要の回復が見込まれることから、広域交流の玄関口の役割を担う交通の要衝として、引き続き、県や関係機関等と連携して道路、鉄道、空港、港湾それぞれの機能充実と連携強化に取り組む必要があります。

**（目指すべき方向性）**  
交通の要衝としての役割の強化や利便性の向上に向け、県や関係機関等と連携して各種整備の促進に取り組み、道路、鉄道、空港、港湾それぞれの機能充実と連携強化を図ります。

1 施策の基本情報

基本政策	第5章	つよい街	主たる担当部局		
政策	第3節	交通インフラの充実	都市整備部		
施策	第2項	域内交通の充実	関連部局		
			浪岡振興部・交通部		

2 施策の方向性（前期基本計画の抜粋）

都市づくりと連携しながら、公共交通機関の相互連携や利便性の向上により、将来にわたって持続可能な公共交通ネットワークの形成を図ります。

3 前期基本計画 目標値に対する実績値の状況【◎印は青森市総合戦略2020-2024の指標も兼ねる】

指標①	指標の説明	方向	基準値	H30	R1	R2	R3	R4	R5
公営路線バスの年間乗車人数◎	市営バス、市バス、浪岡地区コミュニティバス、シャトルルートバスの年間利用者数	+	H29 7,772,641 人	目標値 7,772,641	7,772,641	7,772,641	7,772,641	7,772,641	7,772,641
				実績値	7,733,446	7,414,399	6,034,586	5,951,332	6,222,914
分析	新型コロナウイルス感染症の影響により、公営路線バスの年間乗車人数は6,222,914人となり、目標値を下回りました。		達成度評価	B					

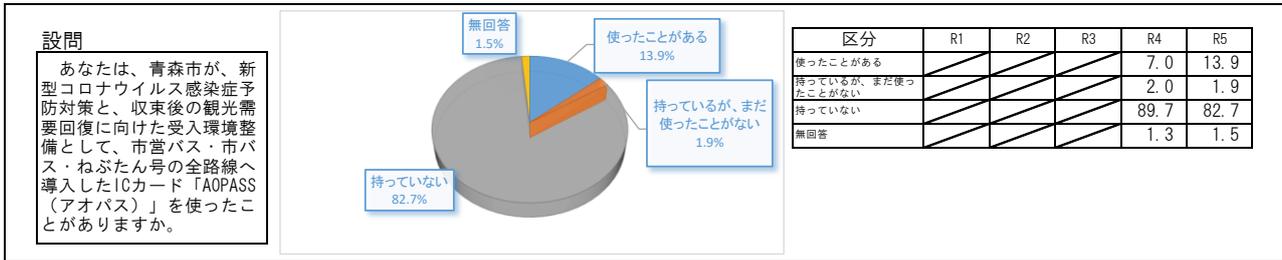
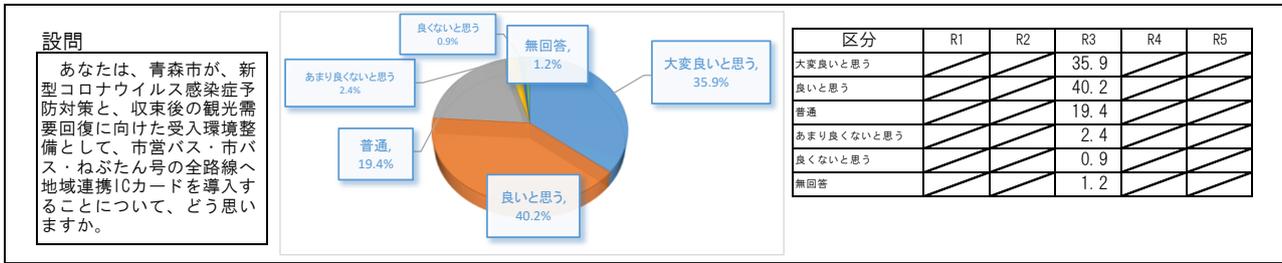
指標②	指標の説明	方向	基準値	H30	R1	R2	R3	R4	R5
市内鉄道駅の1日当たりの乗車人数◎	東日本旅客鉄道㈱・青い森鉄道㈱の1日当たりの乗車人数	+	H29 15,537 人	目標値 15,537	15,634	15,731	15,828	15,925	16,022
				実績値	15,844	15,295	11,273	11,959	13,405
分析	新型コロナウイルス感染症の影響により、市内鉄道駅の1日当たりの乗車人数は13,405人となり、目標値を下回りました。		達成度評価	B					

4 市民意識調査

設問 あなたは、青森市はバス、鉄道などの公共交通機関が利用しやすい街だと思いますか。	<p>無回答 0.6%</p> <p>大いにそう思う 5.9%</p> <p>どちらかといえばそう思う 27.2%</p> <p>どちらともいえない 23.0%</p> <p>あまりそう思わない 32.7%</p> <p>全くそう思わない 10.6%</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大いにそう思う</td> <td>4.1</td> <td>5.9</td> <td>5.9</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>どちらかといえばそう思う</td> <td>28.0</td> <td>28.0</td> <td>27.2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>どちらともいえない</td> <td>24.0</td> <td>26.0</td> <td>23.0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>あまりそう思わない</td> <td>30.5</td> <td>28.3</td> <td>32.7</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>全くそう思わない</td> <td>12.7</td> <td>10.9</td> <td>10.6</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>0.8</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区分	R1	R2	R3	R4	R5	大いにそう思う	4.1	5.9	5.9			どちらかといえばそう思う	28.0	28.0	27.2			どちらともいえない	24.0	26.0	23.0			あまりそう思わない	30.5	28.3	32.7			全くそう思わない	12.7	10.9	10.6			無回答	0.8	1.0	0.6		
区分	R1	R2	R3	R4	R5																																							
大いにそう思う	4.1	5.9	5.9																																									
どちらかといえばそう思う	28.0	28.0	27.2																																									
どちらともいえない	24.0	26.0	23.0																																									
あまりそう思わない	30.5	28.3	32.7																																									
全くそう思わない	12.7	10.9	10.6																																									
無回答	0.8	1.0	0.6																																									

設問 あなたは、青森市が、市営バスへの「冬ダイヤ」導入や、浪岡地区コミュニティバス運行事業の拡充に取り組んでいくことについて、どう思いますか。	<p>無回答 0.7%</p> <p>大変良いと思う 22.6%</p> <p>良いと思う 49.0%</p> <p>普通 24.8%</p> <p>良くないと思う 2.0%</p> <p>あまり良くないと思う 0.8%</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大変良いと思う</td> <td>22.6</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>良いと思う</td> <td>49.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通</td> <td>24.8</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>あまり良くないと思う</td> <td>2.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>良くないと思う</td> <td>0.8</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>0.7</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区分	R1	R2	R3	R4	R5	大変良いと思う	22.6					良いと思う	49.0					普通	24.8					あまり良くないと思う	2.0					良くないと思う	0.8					無回答	0.7				
区分	R1	R2	R3	R4	R5																																							
大変良いと思う	22.6																																											
良いと思う	49.0																																											
普通	24.8																																											
あまり良くないと思う	2.0																																											
良くないと思う	0.8																																											
無回答	0.7																																											

設問 あなたは、青森市が、市営バスのバス停の時刻表を路線ごとに表記したり、車いす対応バスを表示するなど「分かりやすい路線案内」に取り組んでいることについて、どう思いますか。	<p>無回答 1.0%</p> <p>大変良いと思う 31.3%</p> <p>良いと思う 43.7%</p> <p>普通 20.6%</p> <p>あまり良くないと思う 2.6%</p> <p>良くないと思う 0.8%</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大変良いと思う</td> <td></td> <td>31.3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>良いと思う</td> <td></td> <td>43.7</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通</td> <td></td> <td>20.6</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>あまり良くないと思う</td> <td></td> <td>2.6</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>良くないと思う</td> <td></td> <td>0.8</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td></td> <td>1.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区分	R1	R2	R3	R4	R5	大変良いと思う		31.3				良いと思う		43.7				普通		20.6				あまり良くないと思う		2.6				良くないと思う		0.8				無回答		1.0			
区分	R1	R2	R3	R4	R5																																							
大変良いと思う		31.3																																										
良いと思う		43.7																																										
普通		20.6																																										
あまり良くないと思う		2.6																																										
良くないと思う		0.8																																										
無回答		1.0																																										



**5 主要な事業の成果（令和4年度）**

主要事業名	決算額 (千円)	成果の説明	評価指標	実績値				
				H30	R1	R2	R3	R4
民間バス事業者支援緊急対策事業	12,008	新型コロナウイルス感染症の影響を受けている民間バス事業者に対し、事業継続を支援するため、支援金を交付しました。	支援事業者 単位：者	-	-	13	13	12
タクシー事業者等支援緊急対策事業	23,839	新型コロナウイルス感染症の影響を受けているタクシー事業者等に対し、事業継続を支援するため、支援金を交付しました。	支援事業者 単位：者	-	-	88	118	116
青森駅周辺整備推進事業	491,510	青森駅周辺整備の推進を図るため、鉄道事業者（青森県、JR東日本）等、関係機関と連携しながら、西口駅前広場の整備を進め、令和5年3月に供用を開始しました。	- 単位：-	-	-	-	-	-
浅虫温泉駅バリアフリー整備事業	99,650	浅虫地域の住民はもとより、浅虫温泉を訪れる高齢者や観光客など、誰もが安心して駅を利用できる環境を整備するため、駅施設におけるバリアフリー設備（エレベーター）の設置について、施設を所有する青森県とともに、浅虫温泉駅バリアフリー設備整備工事（第1期）を実施しました。	- 単位：-	-	-	-	-	-
バスロケーションシステム導入事業	4,472	スマートフォン等を使用してバスの位置や遅延等がリアルタイムで把握できる「バスロケーションシステム」を導入しました。令和4年12月5日から試験運用を開始し、令和5年3月22日から本格運用を開始しました。	バスロケーションシステム 単位：回	-	-	-	-	635,481
公共交通円滑化促進事業	8,016	年間の利用者数は、国の全国旅行支援等により旅行需要の回復があったことから、令和3年度を上回ったものの、目標値は達成できませんでした。	青森市シャトル・ルートバス利用者数 単位：人	71,624	74,169	20,369	21,295	56,403
青い森鉄道線活用推進事業	173	青い森鉄道線活用推進協議会に対し、負担金を拠出し、青い森鉄道の活用促進に向けた取組を行った結果、年間の利用者数は、国の全国旅行支援等により旅行需要の回復があったことから、令和3年度を上回ったものの、目標値は達成できませんでした。	青い森鉄道線の1日当たりの利用者数（市内駅乗降者数） 単位：人	9,496	9,363	7,899	8,517	9,010

**6 施策の総合評価（主たる担当部局）**

令和4年度の公営路線バスの年間乗車人数は6,222,914人、市内鉄道駅の1日当たりの乗車人数は15,472人と、いずれも目標値を下回りましたが、国における感染症対策の見直し及び全国旅行支援等により、通勤・通学需要及び旅行需要は回復傾向にあり、目標値の達成に向けて順調に推移していました。

また、令和3年度には全路線で青森市地域連携ICカード「AOPASS」の導入、令和4年度には市営バスにおいてスマートフォン等を使用してバスの位置や遅延等がリアルタイムで把握できる「バスロケーションシステム」を導入するなど、ICTの活用によりバス利用者の利便性向上が図られています。

加えて、令和4年度には青森駅西口駅前広場の供用開始、浅虫温泉駅におけるバリアフリー設備設置工事（第1期）の実施など鉄道駅のバリアフリー化も進められており、施策の方向性である都市づくりと連携しながら、公共交通機関の相互連携や利便性の向上により、将来にわたって持続可能な公共交通ネットワークを形成することに寄与しています。

**7 課題及び目指すべき方向性（主たる担当部局）**

**（課題）**  
新型コロナウイルス感染症の影響は少なくなっているものの、今後、人口減少・少子高齢化の進行により、利用者がさらに減少し、運賃収入も減少することが見込まれます。また、高齢者などの公共交通を必要としている方々の交通手段を確保していく必要があることから、利便性の向上を図るとともに、利用状況や利用ニーズを踏まえ、計画的・効率的な公共交通のあり方を検討していく必要があります。

**（目指すべき方向性）**  
人口減少や少子高齢化等の社会情勢の変化に対応しながらも、高齢者などの公共交通を必要としている方々の交通手段を確保していくため、都市づくりと連携しながら、公共交通機関の相互連携や利便性の向上により、将来にわたって持続可能な公共交通ネットワークの充実を図ります。

### 1 施策の基本情報

基本政策	第5章	つよい街	主たる担当部局 都市整備部 関連部局 -
政策	第3節	交通インフラの充実	
施策	第3項	快適な道路交通環境の確保	

### 2 施策の方向性（前期基本計画の抜粋）

安全で快適に移動することのできる道路交通環境の確保を図ります。

### 3 前期基本計画 目標値に対する実績値の状況

指標①	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
都市計画道路整備率	都市計画道路が整備されている割合	+	H29 67.3 %	目標値 実績値		67.4	67.5	67.6	67.7	67.8
分析	都市計画道路整備率は69.1%となり、目標値を上回りました。		達成度評価	A						

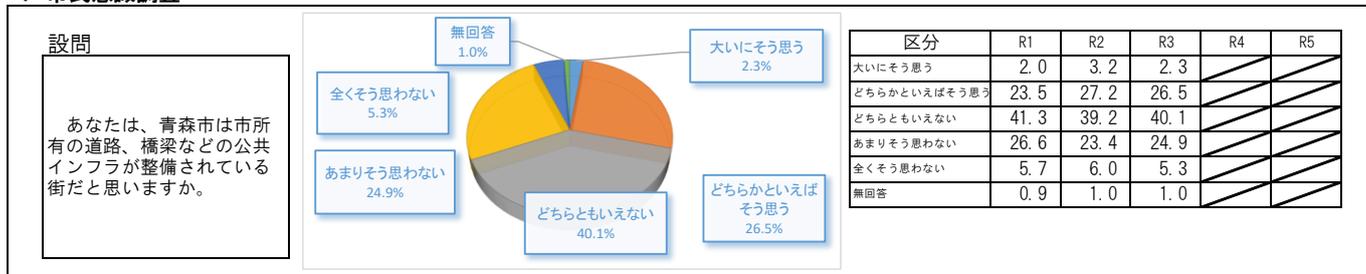
指標②	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値 実績値						
分析			達成度評価							

指標③	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値 実績値						
分析			達成度評価							

指標④	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値 実績値						
分析			達成度評価							

指標⑤	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値 実績値						
分析			達成度評価							

4 市民意識調査



5 主要な事業の成果（令和4年度）

主要事業名	決算額 (千円)	成果の説明	評価指標	実績値				
				H30	R1	R2	R3	R4
道路整備事業	175,709	町会・町内会・市民からの要望を受け、道路の舗装や側溝の改修・新設を行い、市民の快適な道路交通環境の確保を図りました。	側溝整備延長 単位 m	2,891	2,844	2,847	2,634	2,515
都市計画道路整備に関する事業	429,478	都市内における交通ネットワークの構築のため、県と連携を図りながら計画的に道路整備の推進を図りました。	内環状線進捗率 単位 %	37.1	39.6	42.5	47.2	53.8
路面下空洞調査事業	5,038	道路舗装の劣化による陥没事故を未然に防ぐため、計画的に路面下空洞調査を実施しました。	調査区間 単位 km	-	5.8	2.2	1.0	3.0
道路ストック修繕事業	52,304	道路ストック総点検の結果を基に、老朽化した擁壁、舗装及び道路照明灯の補修を行い、第三者の被害防止と安全な道路交通環境の確保を図りました。	舗装補修 単位 m <sup>2</sup>	9,740	5,171	1,485	7,618	8,184
道路施設等維持管理事業	356,836	道路施設等に設置された融雪設備及び排水施設等の機能を維持し、道路交通の安全確保を図りました。	保守点検施設数 単位 施設	39	39	39	39	39
			単位					
			単位					

6 施策の総合評価（主たる担当部局）

「3・2・2号内環状線」における事業の進捗率は、浜田工区（46%）、桑原29号線（64%）と着実に伸びており、また、既存の道路についても緊急性や必要性等を考慮しながら、適正な維持管理に努めることで、施策の方向性に寄与しております。

7 課題及び目指すべき方向性（主たる担当部局）

（課題）  
安全で快適な道路交通環境の確保のため、都市計画道路等の主要幹線道路を継続して整備していく必要があります。また、既存の道路についても緊急性や必要性等を考慮しながら、適正な維持管理に努めていく必要があります。

（目指すべき方向性）  
主要幹線道路の整備及び既存道路の適正な維持管理により、安全で快適に移動することのできる道路交通環境の確保を図ります。



## 【行政分野】

### 防災・雪対策

#### (都市基盤整備・除排雪)

【前期基本計画における施策数】 3

5-1-2 災害防止対策の推進

5-1-3 克雪体制の整備

5-1-4 空家等対策の推進

### 1 施策の基本情報

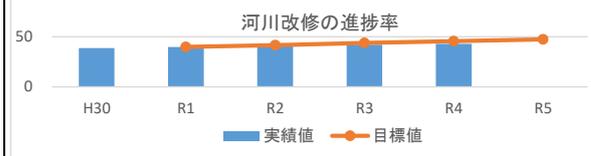
基本政策	第5章	つよい街	主たる担当部局	
政策	第1節	防災体制・雪対策の充実	都市整備部	
施策	第2項	災害防止対策の推進	関連部局	
			農林水産部・水道部	

### 2 施策の方向性（前期基本計画の抜粋）

災害時において、市民の生命と財産を守るため、災害に強い都市基盤整備を進めます。

### 3 前期基本計画 目標値に対する実績値の状況

指標①	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
河川改修の進捗率	市が現在整備を進めている貴船川河川改修の進捗率	+	H29 38.0 %	目標値		39.9	41.7	43.9	45.6	47.4
				実績値	38.8	39.9	41.1	42.1	43.0	
分析	河川改修の進捗率は43.0%となり、目標値を下回りました。			達成度評価	B					



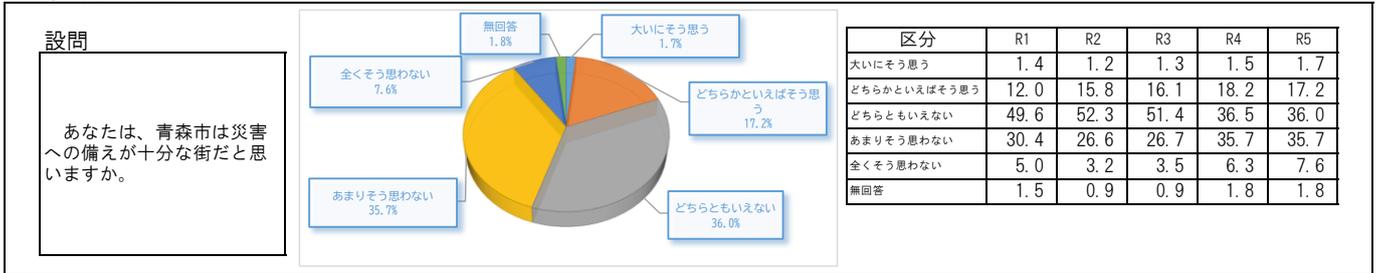
指標②	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析				達成度評価						

指標③	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析				達成度評価						

指標④	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析				達成度評価						

指標⑤	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析				達成度評価						

4 市民意識調査



5 主要な事業の成果（令和4年度）

主要事業名	決算額 (千円)	成果の説明	評価指標	実績値				
				H30	R1	R2	R3	R4
民間建築物耐震診断・普及啓発事業（ブロック塀等安全対策事業）	240	ブロック塀等の耐震化に関する周知が図られるとともに、地震により倒壊するおそれのあるブロック塀が減少しました。	除却等されたブロック塀数 単位 箇所	-	-	-	6	2
水路浚渫事業	18,530	入内川、貴船川、飛鳥川等において、浚渫工事を実施しました。	市が管理している河川の土砂等の撤去量 単位 m3	1,379	557	3,252	1,679	1,280
水防事業	373	水防資材(土のう)を1,300個備蓄し、洪水による水災に備えることができました。 また、想定し得る最大規模の降雨による、市内7水系10河川を対象とした洪水ハザードマップを作成し、堤防決壊、氾濫等の浸水情報や避難に関する情報を提供しました。	水防資材(土のう)の備蓄数 単位 個	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300
宅地耐震化推進事業	2,024	大規模盛土造成地について、現地踏査結果を基に宅地カルテを作成しました。	R2-3：宅地カルテ作成数 R4：優先度評価件数 単位 箇所	-	0	40	23	63
ため池整備事業（負担金）	9,332	浪岡地区にある大堤ため池について、県営事業により整備が進められました。	事業進捗率 単位 %	0.0	10.1	51.4	70.2	96.1
公共下水道雨水対策施設整備事業	64,295	雨水ポンプなどの雨水対策設備において、老朽化対策（改築工事・長寿命化工事）を実施しました。	老朽化対策実施設備数 単位 機	3	2	3	3	1
貴船川河川改修事業	30,530	樋門の耐震性能照査業務委託のほか、橋梁架替工事に係る支障物件の移転補償を実施しました。	市が現在整備を進めている貴船川河川改修の進捗率 単位 %	38.8	39.9	41.1	42.1	43.0
急傾斜地崩壊防止対策事業（負担金）	13,500	野沢字川部及び野内字浦島区域の県による急傾斜地崩壊防止対策事業の事業費の一部を負担し、急傾斜地崩壊防止対策工事が実施されました。	県が現在整備を進めている急傾斜地崩壊防止対策の進捗率 単位 %	28.1	35.3	46.6	57.9	69.2

6 施策の総合評価（主たる担当部局）

市が現在整備を進めている貴船川河川改修事業は、予定通り実施しており、また、公共下水道雨水対策施設整備や急傾斜地崩壊防止対策等についても着実に進捗が図られており、施策の方向性に寄与しています。

一方で、市民意識調査の結果では、災害に対する備えが十分ではないと感じている市民の割合が依然として多い結果となっており、近年全国的に発生している大規模災害が背景にあると考えられます。

7 課題及び目指すべき方向性（主たる担当部局）

（課題）  
近年、全国的に見て大規模な自然災害が多発していることや、市民意識調査の結果を踏まえ、台風や大雨による洪水や土砂災害などへの備えが必要です。

（目指すべき方向性）  
台風や大雨による洪水や土砂災害などへの備えとして、国や県とも連携を図りながら災害に強い都市基盤整備の取組を継続していきます。

### 1 施策の基本情報

基本政策	第5章	つよい街	主たる担当部局 都市整備部 関連部局 -
政策	第1節	防災体制・雪対策の充実	
施策	第3項	克雪体制の整備	

### 2 施策の方向性（前期基本計画の抜粋）

地域・除排雪事業者・行政が連携し、効果的・効率的な除排雪を推進するとともに、市民が共に支え合い助け合う持続可能な雪対策を推進します。

### 3 前期基本計画 目標値に対する実績値の状況【◎印は青森市総合戦略2020-2024の指標も兼ねる】

指標①	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
雪捨て場設置箇所数	道路除排雪作業を行う際に除排雪事業者が利用する雪捨て場の設置箇所数	+	H29 33 箇所	目標値		33	34	34	34	35
				実績値	33	33	33	33	35	
分析	除排雪事業者が利用する雪捨て場設置箇所数は35箇所となり、目標値を上回りました。			達成度評価						

指標②	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
◎ 除雪ボランティア登録者数	青森市ボランティアポイント制度における地域福祉サポーターの登録者のうち「雪対策支援」分野の活動を希望する者の数	+	H29 508 人	目標値		518	523	528	533	538
				実績値	701	810	777	839	809	
分析	除雪ボランティア登録者数は809人となり、目標値を上回りました。			達成度評価						

指標③	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析				達成度評価						

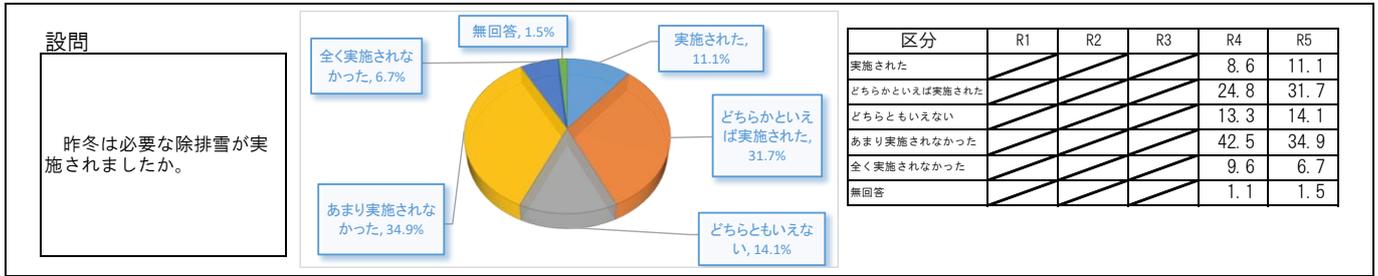
指標④	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析				達成度評価						

### 4 市民意識調査

設問

あなたは、青森市は雪への備えが十分な街だと思いますか。

区分	R1	R2	R3	R4	R5
大いにそう思う	4.2	7.9	3.7		
どちらかといえばそう思う	26.6	32.7	21.7		
どちらともいえない	21.9	22.5	20.0		
あまりそう思わない	32.2	26.3	37.5		
全くそう思わない	14.3	9.6	16.3		
無回答	0.9	0.0	0.7		



**5 主要な事業の成果（令和4年度）**

主要事業名	決算額 (千円)	成果の説明	評価指標	実績値				
				H30	R1	R2	R3	R4
除排雪対策事業	5,128,608	除排雪事業実施計画に基づき、除排雪延長1,681.17kmについて、効果的・効率的な除排雪作業を実施したことにより、冬期間における都市機能の維持及び道路交通の確保と市民生活の安定を図ることができたものと考えます。	除排雪延長 単位 km	1,677.74	1,677.00	1,678.48	1,679.94	1,681.17
豪雪地帯安全確保緊急対策事業	47,691	除雪ボランティア活動時の安全対策に関する実地講習会を開催し、雪下ろし等除雪作業の担い手の育成とともに、地域住民への安全な除排雪作業の浸透を図りました。	安全対策講習会の開催回数 単位 回	-	-	-	-	2
除雪オペレーター担い手育成支援事業	59	冬期間の安全で安心な交通を確保するため、市の除排雪業務を請け負う事業者に対し、除排雪作業の担い手となる除雪オペレーター育成に係る車両系技能講習の受講料等の費用の一部を補助しました。	支援事業を活用した研修等受講者数 単位 人	-	-	-	36	10
除排雪力向上連携ネットワーク形成事業（連携）	169	令和4年度は、運転技術の向上や安全意識の向上を目的とした、除排雪オペレーター講習会を開催しました。	講習会の開催回数 単位 回	-	-	-	-	2
流雪溝整備事業	275,898	冬期間の快適な生活空間を創出するため、河川水を利用した融流雪溝を整備しました。 佃地区：融流雪溝L=1,248m 篠田地区：融流雪溝L=686m 北中野地区：融流雪溝L=182m	整備延長 単位 m	610	773	160	499	2,116
			単位					
			単位					

**6 施策の総合評価（主たる担当部局）**

雪捨て場の設置箇所数指標、除雪ボランティア登録者数指標ともに目標値を上回っており、効果的・効率的な除排雪及び市民が共に支え合い助け合う持続可能な雪対策が着実に進んでおり、施策の方向性に寄与しています。

市民意識調査では、昨冬は必要な除排雪が実施されたと思う割合が、「実施された」「どちらかといえば実施された」が42.8%ある一方、「あまり実施されなかった」「全く実施されなかった」が41.6%あることから、引き続き、効果的・効率的な除排雪の推進のため継続した取組が必要です。

**7 課題及び目指すべき方向性（主たる担当部局）**

**（課題）**  
市民意識調査の状況から市民の雪対策への関心が高いことや、今後の人口減少の進展を踏まえ、これまでの取組に加え、除排雪体制の効率化・省力化に向けた調査・研究を行い、効果的・効率的な除排雪の推進を図る必要があります。

**（目指すべき方向性）**  
地域・除排雪事業者・行政が連携し、効果的・効率的な除排雪を推進するとともに、市民が共に支え合い助け合う持続可能な雪対策を推進します。

### 1 施策の基本情報

基本政策	第5章	つよい街	主たる担当部局 都市整備部 関連部局 -
政策	第1節	防災体制・雪対策の充実	
施策	第4項	空家等対策の推進	

### 2 施策の方向性（前期基本計画の抜粋）

空家等の適正な管理を促進することにより、市民が安全・安心に暮らすことができる生活環境の確保を進めます。

### 3 前期基本計画 目標値に対する実績値の状況

指標①	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
空家バンク登録数	通常では不動産市場に流通しにくい中古住宅や空地等を空家バンク制度により流通物件化した数	+	H30 0 件	目標値	0	100	100	100	100	100
				実績値	0	2	8	11	20	
分析	令和4年度は空き家3件、空き地6件の合計9件の物件を新規登録し、全体の登録数は20件になりましたが、目標値を下回りました。			達成度評価	D					

指標②	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析				達成度評価						

指標③	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析				達成度評価						

指標④	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析				達成度評価						

指標⑤	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析				達成度評価						

4 市民意識調査

**設問**

あなたは、青森市が、管理不全な空家等の解消や利活用を推進するため「空き家空き地バンク」制度により、不動産市場に流通しにくい空家や空地の情報を広く公開していることについて、どう思いますか。

回答	割合
良いと思う	49.3%
大変良いと思う	24.3%
普通	23.5%
あまり良くないと思う	1.2%
良くないと思う	0.9%
無回答	0.8%

区分	R1	R2	R3	R4	R5
大変良いと思う	26.8	29.0	24.3		
良いと思う	47.8	46.0	49.3		
普通	21.5	21.5	23.5		
あまり良くないと思う	2.1	1.4	1.2		
良くないと思う	0.6	0.4	0.9		
無回答	1.3	1.8	0.8		

**設問**

区分	R1	R2	R3	R4	R5

5 主要な事業の成果（令和4年度）

主要事業名	決算額 (千円)	成果の説明	評価指標	実績値				
				H30	R1	R2	R3	R4
放置危険空家対策事業	330	適切に管理されていない空家等の令和4年度情報提供407件に対して、管理依頼文書発送等により407件対応をしました。	年度内情報提供件数に対する対応率 単位: %	100	100	100	100	100
青森市空き家・空き地バンク事業	60	令和4年度は空き家3件、空き地6件の合計9件の物件を新規登録しました。	空き家・空き地バンクへの登録件数 単位: 件	0	2	8	11	20

6 施策の総合評価（主たる担当部局）

令和4年度は407件の空家等の情報提供があり、管理依頼文書等により全ての情報に対応しました。令和元年度より運用している空き家・空き地バンクについては令和4年度に空き家3件、空き地6件の合計9件の物件を新規登録し、全体の新規登録件数は20件となりました。なお、のべ契約成立件数は5件となっています。

今後も、所有者等に対して空家等の適正管理を促していくとともに、その中でも著しく危険度が高い「特定空家等」に対しては、「空家等対策の推進に関する特別措置法」の規定に基づく対応を行います。

また、空き家・空き地の利活用に関しても「空き家・空き地バンク」の登録件数増加に向けた取組を継続します。このことにより、空家等の適切な管理を促進し、市民が安全・安心に暮らすことができる生活環境を確保するという施策の方向性に寄与していると考えます。

7 課題及び目指すべき方向性（主たる担当部局）

**（課題）**  
 施策評価の結果を踏まえ、危険度が著しく高い「特定空家等」については「空家等対策有識者会議」の意見を参考の上、法的措置の対応を進めるとともに、「空き家・空き地バンク」については登録数確保のため、制度について周知の機会を増やし、管理されない空家等が増えないよう健全な居住環境の維持に引き続き取り組む必要があります。

**（目指すべき方向性）**  
 健全な居住環境の維持・向上に向け、空き家・空き地の利活用を促進するとともに、管理不全な空家等の解消を図ります。



## 【行政分野】

### 環境

【前期基本計画における施策数】 8

- 6-1-1 陸奥湾資源の保全
- 6-1-2 豊かな森林の保護
- 6-1-3 再生可能エネルギーの導入・省エネ活動の促進
- 6-2-1 適正な污水排除・処理の確保
- 6-2-2 公害対策の推進
- 6-2-3 衛生的な生活環境の確保
- 6-3-1 ごみの減量化・リサイクルの強化
- 6-3-2 適正な廃棄物処理の確保

### 1 施策の基本情報

基本政策	第6章	かがやく街	主たる担当部局 環境部 関連部局 企画部・経済部・農林水産部
政策	第1節	豊かな自然環境の保全	
施策	第1項	陸奥湾資源の保全	

### 2 施策の方向性（前期基本計画の抜粋）

陸奥湾沿岸市町村や関係団体と一体となった環境保全への取組を推進し、陸奥湾資源の保全を図ります。

### 3 前期基本計画 目標値に対する実績値の状況【◎印は青森市総合戦略2020-2024の指標も兼ねる】

指標①	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
陸奥湾の環境基準達成率◎	陸奥湾の水質調査（3地点）における環境基準の達成率	+	H29 94.1 %	目標値		100	100	100	100	100
				実績値	93.1	94.1	93.1	93.1	87.1	
分析	陸奥湾の環境基準達成率は87.1%となり、目標値を下回りました。			達成度評価						

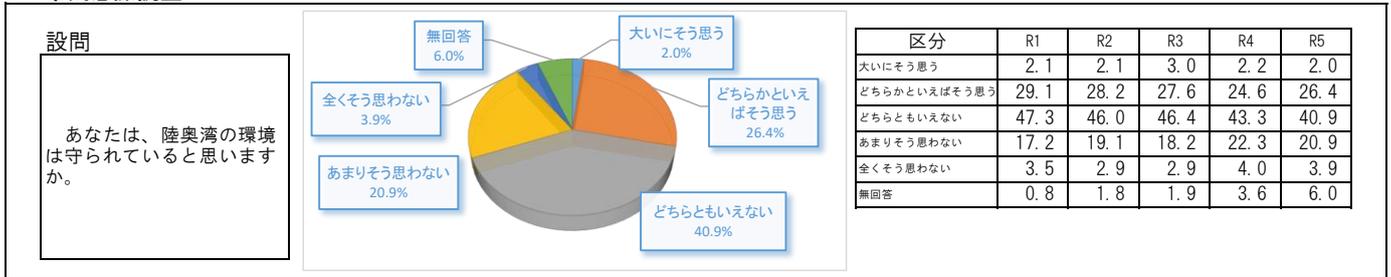
指標②	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析				達成度評価						

指標③	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析				達成度評価						

指標④	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析				達成度評価						

指標⑤	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析				達成度評価						

4 市民意識調査



設問

区分	R1	R2	R3	R4	R5

5 主要な事業の成果（令和4年度）

主要事業名	決算額 (千円)	成果の説明	評価指標	実績値				
				H30	R1	R2	R3	R4
むつ湾広域連携事業（連携）	3,940	むつ湾広域連携協議会において、陸奥湾の環境保全、並びに陸奥湾の豊かな資源や美しい自然景観を生かした産業及び観光の振興を図るため10事業を実施しました。	むつ湾沿岸市町村連携事業数 単位：件	-	7	6	4	10
漁場環境保全事業	6,711	青森市漁協、後潟漁協に市内16地区の海岸漂着物の回収事業を委託し、適正に処分しました。	海岸漂着物回収地区数 単位：箇所	16	16	16	16	16
むつ湾環境保全活動促進事業（連携）	190	「むつ湾週間」中に清掃活動等を実施したことにより、市民の環境保全意識の向上を図り、陸奥湾の良好な水質環境が維持されました。	むつ湾週間活動団体数 単位：団体	15	15	9	12	12

6 施策の総合評価（主たる担当部局）

令和4年度の陸奥湾の水質調査における環境基準の達成率が悪化し、目標を達成できませんでした。  
 令和4年度は、令和3年度にコロナ禍でできなかったむつ湾市町村連携事業が、単年度事業及び新規事業を各1件加え、実施することができ、実施事業数は過去最高となりましたが、むつ湾週間活動団体数は前年度と同数でした。  
 令和5年度市民意識調査では、約3割が陸奥湾の環境が守られている、約2割が守られていないと回答があり、昨年度と比較すると、「守られている」は微増、「守られていない」は微減となり、陸奥湾の環境保全活動の効果が少しずつ現れています。

7 課題及び目指すべき方向性（主たる担当部局）

（課題）  
 令和5年度の市民意識調査においてわずかに陸奥湾の環境が「守られている」とする回答が増加し、「守られていない」とする回答が減少したものの、環境基準の達成状況は悪化しており、コロナ禍により実施できなかった活動などもあったことから、むつ湾週間などにおける環境保全活動の支援を継続していきます。

（目指すべき方向性）  
 将来にわたって、陸奥湾の良好な水質環境を保全していくため、沿岸8市町村や関係団体がより一層連携し、環境保全意識の醸成や環境保全活動を行っている団体との連携、港湾管理者や漁業関係者への海洋ごみの回収協力依頼など陸奥湾の環境保全活動の取組を進めていきます。

### 1 施策の基本情報

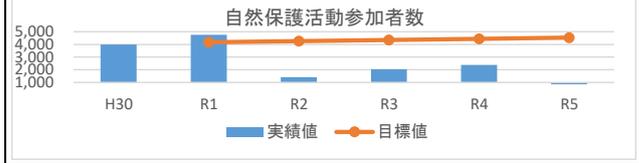
基本政策	第6章	かがやく街	主たる担当部局 環境部 関連部局 経済部・農林水産部・都市整備部
政策	第1節	豊かな自然環境の保全	
施策	第2項	豊かな森林の保護	

### 2 施策の方向性（前期基本計画の抜粋）

自然環境を守り育てる活動の充実や自然保護意識の醸成を図るとともに、八甲田山系から身近な里山まで、豊かな森を将来世代に引き継いでいくため、自然環境の保護を図ります。

### 3 前期基本計画 目標値に対する実績値の状況【◎印は青森市総合戦略2020-2024の指標も兼ねる】

指標①	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
自然保護活動参加者数◎	清掃活動や植樹活動などの自然保護活動への参加者数	+	H29 3,991 人	目標値		4,172	4,263	4,354	4,445	4,535
				実績値	3,988	4,757	1,420	2,049	2,376	
分析	新型コロナウイルス感染症の影響により、自然保護活動参加者数は2,376人となり、目標値を下回りました。			達成度評価	C					



指標②	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析				達成度評価						

指標③	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析				達成度評価						

指標④	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析				達成度評価						

指標⑤	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析				達成度評価						

4 市民意識調査

設問

あなたは、この1年間に、清掃活動や植樹活動などの自然保護活動に参加していますか。

区分	R1	R2	R3	R4	R5
参加したことがある	10.5	8.8	8.5		
この1年間ではないが、参加したことがある	14.4	14.3	14.5		
参加したいと思うが、参加したことはない	46.1	48.4	46.8		
参加したいとは思わない	28.1	26.9	28.4		
無回答	1.0	1.6	1.8		

設問

区分	R1	R2	R3	R4	R5

5 主要な事業の成果（令和4年度）

主要事業名	決算額 (千円)	成果の説明	評価指標	実績値				
				H30	R1	R2	R3	R4
農作物鳥獣被害対策事業	3,455	農作物の鳥獣被害対策の実践的活動を担う「青森市鳥獣被害対策実施隊」を設置し、パトロール活動や追払い活動、生息・被害調査等を実施しました。	「青森市鳥獣被害対策実施隊」の活動回数 単位：回	-	-	-	143	156
森林経営管理事業	7,153	令和4年度は、森林の適切な管理を目的とした森林経営管理法に基づく森林所有者への意向調査を、青森地区、浪岡地区で各1地区実施しました。	森林経営管理に係る意向調査地区数 単位：地区	0	0	2	2	2
八甲田地区自然環境保全事業	2,045	国や県、関係市町村と連携して八甲田地区の散乱ごみや事業系ごみの収集を行いました。	八甲田地区ごみ処理実績 単位：t	91	95	45	52	69
森と湖に親しむ集い事業（連携）	88	自然保護意識の醸成を図ることを目的に、戸山西小学校4年生42人が、ダム見学や植樹等の体験学習を通して、森や川の役割を学びました。	体験学習の参加人数 単位：人	120	117	0	54	42
眺望山・梵珠山自然休養林保護管理事業	37	眺望山・梵珠山自然休養林の清掃活動及び環境美化活動を実施し、眺望山・梵珠山自然休養林の自然環境の保全及び利用促進を図りました。	清掃活動及び環境美化活動実施回数 単位：回	2	1	1	0	1

6 施策の総合評価（主たる担当部局）

指標である自然保護活動参加者数は、令和元年度については目標値を上回りましたが、令和2～4年度については徐々に増加はしているものの、新型コロナウイルスの影響によりイベントそのものの中止、または参加人数が減少するなどにより、大幅に目標値を下回りました。

7 課題及び目指すべき方向性（主たる担当部局）

（課題）  
令和3年度の市民意識調査でみると自然保護活動に関心や興味のある潜在的な参加希望者は多いことから、引き続き自然保護活動を実施し、市民の環境保全意識を醸成していくことが求められています。

（目指すべき方向性）  
市民意識のさらなる醸成につなげるため、森林の機能についての学習機会や緑化・植樹の普及啓発活動の事業を継続するとともに、豊かな森林の保護に向け、「SAVE THE むつ湾」のキャッチフレーズを掲げた「むつ湾環境保全活動促進事業」との連携を深めていきます。

### 1 施策の基本情報

基本政策	第6章	かがやく街	主たる担当部局 環境部 関連部局 -
政策	第1節	豊かな自然環境の保全	
施策	第3項	再生可能エネルギーの導入・省エネ活動の促進	

### 2 施策の方向性（前期基本計画の抜粋）

再生可能エネルギー等の普及促進、省エネルギー行動の推進などに取り組むことにより、温室効果ガス排出量の削減を図り、地球温暖化対策を推進します。

### 3 前期基本計画 目標値に対する実績値の状況【◎印は青森市総合戦略2020-2024の指標も兼ねる】

指標①	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5	
温室効果ガス排出量◎	市域における温室効果ガスの総排出量	-	H27 261.1	ト1-03	目標値		242.4	237.8	233.1	228.4	223.8
					実績値	250.8	253.0	241.2	未確定	未確定	
分析	温室効果ガス排出量は、国や県などの統計データを利用し算出するため、現時点で算出できるのは令和2年度までですが、基準値と比較し減少しており、一定の成果が出ていると考えます。			達成度評価	未確定						

温室効果ガス排出量

指標②	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5	
環境啓発関連イベントなどへの参加者数	市が主催する環境啓発関連イベントや講座などへの市民の参加者数	+	H29 2,121	人	目標値		2,431	2,586	2,741	2,896	3,051
					実績値	2,426	2,738	1,626	1,096	1,871	
分析	新型コロナウイルス感染症の影響により、環境啓発関連イベントなどへの参加者数は1,871人となり、目標値を下回りました。			達成度評価	C						

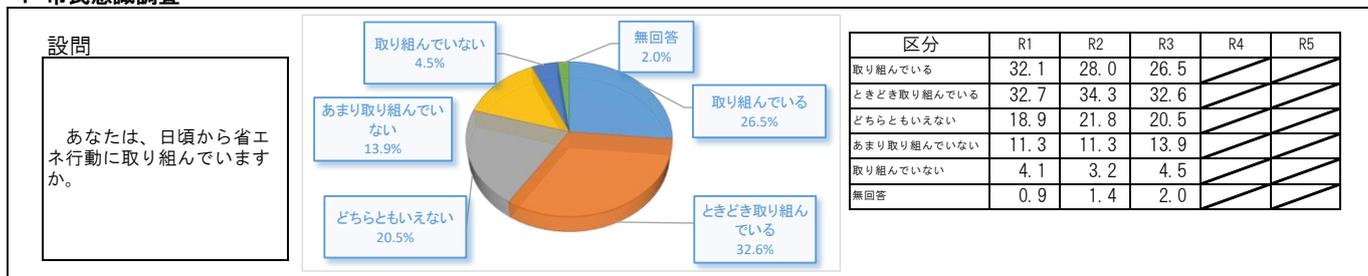
環境啓発関連イベントなどへの参加

指標③	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
					目標値					
					実績値					
分析				達成度評価						

指標④	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
					目標値					
					実績値					
分析				達成度評価						

指標⑤	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
					目標値					
					実績値					
分析				達成度評価						

4 市民意識調査



設問

区分	R1	R2	R3	R4	R5

5 主要な事業の成果（令和4年度）

主要事業名	決算額 (千円)	成果の説明	評価指標	実績値				
				H30	R1	R2	R3	R4
協働による環境教育・環境学習推進事業（連携）	4,330	出張環境講座を43回実施しました。	出張環境講座実施回数 単位：回	39	36	26	18	43
CO2削減行動推進事業	44	国の補助制度の変更に伴い、補助事業を活用できませんでしたが、12月に開催した環境フェアや、2月に駅前スクエアで開催した展示イベントにおいて、COOL CHOICEの賛同者の獲得に努めました。	COOL CHOICEの賛同者数 単位：人	3,033	-	2,108	254	162
			単位：					
			単位：					

6 施策の総合評価（主たる担当部局）

市域における温室効果ガス排出量の実績は、基準値と比較し減少してきているものの、目標を達成できませんでした。出張環境講座の実施回数は増加した一方で、環境啓発関連イベントや講座などへの市民の参加者数は、新型コロナウイルスの影響による減少から回復傾向にあるものの、目標は達成できませんでした。

7 課題及び目指すべき方向性（主たる担当部局）

（課題）  
令和2年度の温室効果ガス排出量の実績値は、基準年度の平成27年度の実績値より19.9万t-CO2減少しており、一定の成果が出ているものの、国が表明した2050年カーボンニュートラルを実現するためには、国が改定した地球温暖化対策計画を踏まえた温室効果ガス排出量の削減対策を検討する必要があります。

（目指すべき方向性）  
本市においても、国が改定した地球温暖化対策計画を踏まえ、青森市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）を改定し、2050年カーボンニュートラルの実現に向けた取組の推進を図ります。

### 1 施策の基本情報

基本政策	第6章	かがやく街	主たる担当部局
政策	第2節	快適な生活環境の確保	
施策	第1項	適正な汚水排除・処理の確保	関連部局
			環境部

### 2 施策の方向性（前期基本計画の抜粋）

汚水処理に係る水洗化の促進や下水道施設等の機能確保などにより、公共用水域の水質を保全し、衛生的な生活環境の確保を図ります。

### 3 前期基本計画 目標値に対する実績値の状況

指標①	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
水洗化率	公共下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽で汚水を処理している年度末現在の人口の割合	+	H29 76.3 %	目標値		77.1	77.5	77.9	78.2	78.6
				実績値	76.8	77.3	77.7	78.2	78.9	
分析	水洗化率は78.9%となり、目標値を上回りました。		達成度評価	A						

指標②	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析			達成度評価							

指標③	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析			達成度評価							

指標④	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析			達成度評価							

指標⑤	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析			達成度評価							

4 市民意識調査

**設問**

あなたは、これから下水道の普及率の向上に取り組むべきだと思いますか。  
(令和3年度末時点の普及率87.1%)

大いに思う	48.2%
どちらかといえば思う	34.3%
どちらともいえない	11.7%
あまりそう思わない	2.2%
全くそう思わない	1.0%
無回答	2.6%

区分	R1	R2	R3	R4	R5
大いに思う	49.7	52.7	49.1	45.5	48.2
どちらかといえば思う	35.6	32.2	36.5	35.7	34.3
どちらともいえない	12.3	11.7	11.7	12.6	11.7
あまりそう思わない	1.3	1.4	0.6	3.5	2.2
全くそう思わない	0.3	0.3	0.3	0.9	1.0
無回答	0.9	1.7	1.8	1.9	2.6

**設問**

区分	R1	R2	R3	R4	R5

5 主要な事業の成果（令和4年度）

主要事業名	決算額 (千円)	成果の説明	評価指標	実績値				
				H30	R1	R2	R3	R4
上水道施設整備事業	1,851,715	令和4年度は、老朽化した堤川浄水場の取水ゲートの機械・電気設備の更新工事に着手しました。 また、老朽化した配水管等について、配水管整備事業により、約15.2kmを更新しました。	管路の更新率(目標値年1%以上) 単位: %	1.16	1.01	1.08	1.16	1.06
公共下水道汚水処理施設整備事業	685,619	令和4年度は、下水道未整備地区において、管布設工事(1,023m)を実施しました。また、老朽化対策として、管更生工事(173m)、汚水ポンプなどの汚水処理設備において、改築工事・長寿命化工事(19基)等を実施しました。	公共下水道普及率(処理区域内人口/行政人口) 単位: %	80.9	81.2	81.3	81.4	81.6
農業集落排水処理施設整備事業	20,350	令和4年度は、県補助金を活用し、老朽化した施設・設備の適正な維持管理を図るため、維持管理適正化計画及び最適整備構想を策定しました。	計画策定件数 単位: 件	-	-	-	-	2
合併処理浄化槽設置促進事業	4,775	浄化槽を設置する市民に対して補助金を交付する制度について、広報あおもりやホームページ等で、周知に努めた結果、11件の補助実績となりました。	申請件数 単位: 件	11	14	11	5	11
未水洗化家屋啓発事業(公共下水道)	26	令和4年度は、水洗化27件、浄化槽切替70件、建替水洗化56件の下水道接続工事申請がありました。 また、あおもりウォーターフェア開催時には、下水道に関する相談受付をし、水洗化のPR活動を行いました。	公共下水道水洗化率(処理区域内下水道接続人口÷処理区域内人口) 単位: %	88.55	88.82	89.10	89.43	90.00

6 施策の総合評価（主たる担当部局）

汚水処理に係る水洗化促進に向けた取組として、公共下水道未整備地区における管布設工事の実施、合併処理浄化槽の設置補助及び水洗便所改造等への補助、未水洗化家屋に対する啓発活動を行いました。その結果、指標である水洗化率の実績値が目標値を超え、着実に水洗化が進んでおり、施策の目標指標に大きく貢献しています。また、下水道施設等の機能確保のため、老朽化した管や汚水処理設備の改築・長寿命化工事を実施しました。

市民意識調査においても陸奥湾の水質保全に対する関心が高く、これから普及率の向上に取り組むべきと考える市民が8割以上もいることから、引き続き、汚水処理に係る水洗化の促進や下水道施設等の機能確保に向けた取組を進めていく必要があります。

7 課題及び目指すべき方向性（主たる担当部局）

**（課題）**  
河川等の水質保全や生活環境の改善のためには、老朽化が進む汚水処理施設における機能を確保しながら、適正な汚水排除・処理を持続的に進めていくことが重要ですが、社会環境の変化や要請として、人口減少や節水機器の普及等に伴う使用料の収入の減少、物価高騰等による維持管理及び投資コストの増加、近年の大雨被害に伴う浸水・防災対策の必要性などが挙げられています。

**（目指すべき方向性）**  
陸奥湾をはじめとする公共用水域の水質保全のため、令和5年3月に策定した「青森市下水道事業経営戦略」に基づき、処理区域の見直しによる新規整備費用や長寿命化による維持管理費用の抑制や、将来負担の平準化を見据えた下水道事業経営の健全化を図りながら、未普及地域解消に向けた下水道整備や、下水道処理区域において水洗化されていない住宅等に対する水洗化促進を進めるとともに、ストックマネジメント計画等に基づく予防保全型維持管理を前提とした適切な手法による維持管理や計画的な更新改修等に取り組むことにより、市民の衛生的な生活環境の確保に努めます。

### 1 施策の基本情報

基本政策	第6章	かがやく街	主たる担当部局 環境部 関連部局 -
政策	第2節	快適な生活環境の確保	
施策	第2項	公害対策の推進	

### 2 施策の方向性（前期基本計画の抜粋）

生活環境の保全を図るため、環境基準の達成状況の調査や事業者への指導などの公害監視活動を継続するとともに、事業者や市民に対する意識啓発を進めます。

### 3 前期基本計画 目標値に対する実績値の状況

指標①	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5																					
環境基準達成率（大気・水質・騒音など）	大気・水質・騒音などの各監視項目に係る環境基準の達成率	+	H29 95.1 %	目標値		95.4	95.6	95.7	95.9	96.1																					
				実績値	97.0	93.7	93.2	94.3	96.5																						
分析	環境基準達成率（大気・水質・騒音など）は96.5%となり、目標値を上回りました。			達成度評価	A	<p>環境基準達成率(大気・水質・騒音など)</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr> <tr><td>H30</td><td>97.0</td><td>95.4</td></tr> <tr><td>R1</td><td>93.7</td><td>95.6</td></tr> <tr><td>R2</td><td>93.2</td><td>95.7</td></tr> <tr><td>R3</td><td>94.3</td><td>95.7</td></tr> <tr><td>R4</td><td>96.5</td><td>95.9</td></tr> <tr><td>R5</td><td></td><td>96.1</td></tr> </table>					年度	実績値	目標値	H30	97.0	95.4	R1	93.7	95.6	R2	93.2	95.7	R3	94.3	95.7	R4	96.5	95.9	R5		96.1
年度	実績値	目標値																													
H30	97.0	95.4																													
R1	93.7	95.6																													
R2	93.2	95.7																													
R3	94.3	95.7																													
R4	96.5	95.9																													
R5		96.1																													

指標②	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析				達成度評価						

指標③	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析				達成度評価						

指標④	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析				達成度評価						

指標⑤	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析				達成度評価						

4 市民意識調査

設問

あなたは、青森市は大気汚染や水質汚濁などの公害対策に適切に取り組んでいる街だと思いますか。

全くそう思わない	2.7%
あまりそう思わない	14.2%
どちらともいえない	49.4%
どちらかといえばそう思う	28.2%
大いにそう思う	3.8%
無回答	1.8%

区分	R1	R2	R3	R4	R5
大いにそう思う	5.0	4.9	3.8		
どちらかといえばそう思う	26.9	29.1	28.2		
どちらともいえない	47.1	47.3	49.4		
あまりそう思わない	16.8	14.5	14.2		
全くそう思わない	3.2	2.9	2.7		
無回答	0.9	1.4	1.8		

設問

区分	R1	R2	R3	R4	R5

5 主要な事業の成果（令和4年度）

主要事業名	決算額 (千円)	成果の説明	評価指標	実績値				
				H30	R1	R2	R3	R4
騒音・振動・水質調査等公害監視事業	47,918	令和4年度は、PM2.5・光化学オキシダント等の大気汚染調査、河川・海域の水質調査、自動車・航空機・新幹線等の環境騒音測定、大気・河川のダイオキシン類調査をのべ630地点で実施し、608地点で環境基準を達成し、環境基準達成率は目標値95.7%を上回る96.5%となっています。	環境基準達成率（大気・水質・騒音など）	97.0	93.7	93.2	94.3	96.5
公害苦情処理事業	275	令和4年度に受付した苦情相談の約7割が騒音と悪臭に係る苦情で、小規模な事業場や個人宅を発生源とする事例が多くなっています。相談件数については、ほぼ横ばいの傾向となっており、公害苦情相談を受けて、速やかに現地調査を行い、必要な助言・指導を行った結果、市民の生活環境が改善されています。	公害苦情処理件数	64	61	55	53	52
地盤沈下防止対策事業	14,571	地盤沈下に影響を及ぼす地下水の採取について、揚水ポンプの吐出口の口径及び1日当たりの採取量を規制するとともに、消雪パトロールによる是正指導をするなど、地下水の過剰揚水を制限しています。地盤沈下観測水準測量は3年毎に実施しており、令和4年の測量では顕著な地盤沈下は確認されていないため、地盤沈下は沈静化しています。	地盤沈下最大沈下量	1.11 H28実績	1.92 R1実績			1.90 R4実績

6 施策の総合評価（主たる担当部局）

指標である環境基準達成率（大気・水質・騒音など）は、令和4年度で630項目中608項目が基準を達成し、達成率は96.5%となり、目標値95.7%を上回るとともに、令和2年度以降は改善しています。

7 課題及び目指すべき方向性（主たる担当部局）

（課題）  
令和3年度までの市民意識調査において、市が行っている公害対策への取り組みについて、「どちらともいえない」、「あまりそう思わない」、「思わない」との回答が過半数以上と市の公害対策の取り組みに対する認知度が低くなっており、今後とも大気汚染や水質汚濁などの環境基準調査等について継続し取り組む必要があります。

（目指すべき方向性）  
市民の皆様にもホームページに掲載している”青森市のかんきょう”についてPRすることで、市内の環境の現状を把握してもらうことで環境保全意識向上に努めます。

### 1 施策の基本情報

基本政策	第6章	かがやく街	主たる担当部局
政策	第2節	快適な生活環境の確保	
施策	第3項	衛生的な生活環境の確保	関連部局
			市民部

### 2 施策の方向性（前期基本計画の抜粋）

食品衛生対策や生活衛生対策を推進するとともに、犬や猫をはじめとするペットへの愛護意識の高揚を図ることなどにより、衛生的な生活環境を確保します。

### 3 前期基本計画 目標値に対する実績値の状況

指標①	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
食中毒事件発生件数	原因となる食品や、施設が特定された食中毒の発生件数	-	H29 1 件	目標値		0	0	0	0	0
				実績値	0	2	1	1	0	
分析	食中毒事件発生件数は0件となり、目標値に達しました。			達成度評価	A	<p>食中毒事件発生件数</p> <p>実績値 目標値</p>				

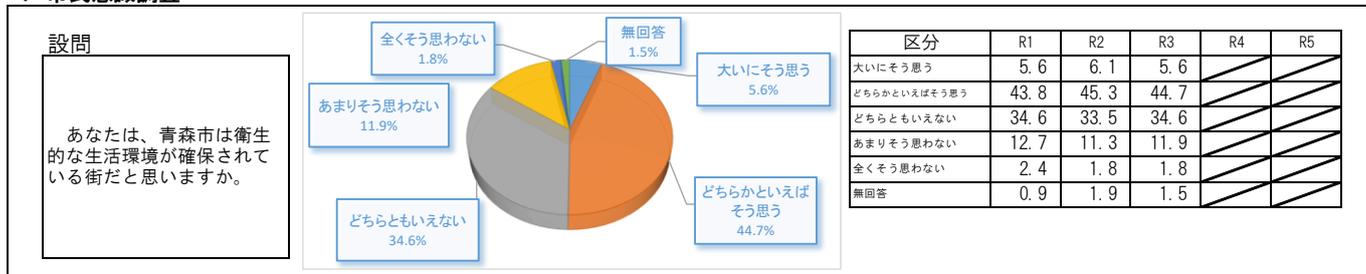
指標②	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
犬・猫引取り数	飼い主がやむを得ない理由で飼えなくなった犬・猫や、所有者不明の犬・猫の引取りを給付者から求められた場合に引取りをした頭数	-	H30 192 頭	目標値		173	155	135	117	98
				実績値	199	106	154	120	81	
分析	犬・猫引取り数は81頭となり、目標値に達しました。			達成度評価	A	<p>犬・猫引取り数</p> <p>実績値 目標値</p>				

指標③	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析				達成度評価						

指標④	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析				達成度評価						

指標⑤	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析				達成度評価						

4 市民意識調査



5 主要な事業の成果（令和4年度）

主要事業名	決算額 (千円)	成果の説明	評価指標	実績値				
				H30	R1	R2	R3	R4
青森市斎場建替事業	19,821	老朽化した青森市斎場の建て替えに向け、青森市斎場建替基本計画を策定し、PFI等導入可能性調査による検討の結果、事業手法をDBO（公設民営）方式として、総合評価落札方式一般競争入札を公告しました。	-	-	-	-	-	-
霊園・墓園管理運営事業	58,467	三内霊園、月見野霊園、八甲田霊園、浪岡墓園の適切な管理運営を図り、利用環境の維持に努めました。	-	-	-	-	-	-
食品衛生管理事業	241	食品関係事業者が自主的に実施する衛生知識習得のための講習会に対し、保健所職員を講師として派遣し、事業者における衛生知識の向上を図っています。令和4年度は、令和3年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により集合形式による講習会の開催を控えた事業者が多く、講習会実施団体数は減少傾向が継続しました。	講習会実施団体数 (延べ)	32	31	8	13	14
食品関係衛生監視事業	157	食品関係施設の衛生確保を図るため、定期的に施設への立ち入り調査（監視）および指導を行っており、令和4年度は営業停止などの行政処分を伴う食中毒事件の発生はありませんでした。	食中毒事件発生件数	0	2	1	1	0
犬・猫等引取収容事業	16,274	所有者不明の犬・猫の引取りをその取得者から求められた場合や、飼い主の止むを得ない事情で飼い続けることが出来なくなった場合に限り犬・猫の引取りを行っています。所有者不明の子猫の引取りに関する相談が前年度と比べ減少し、犬・猫の引取り数も減少しました。	犬・猫引取数	199	106	154	120	81
狂犬病予防対策事業	3,489	狂犬病予防注射の接種徹底を図るため、市民センター等における狂犬病予防集合注射の実施のほか電話での接種勧奨などを実施し、令和4年度の接種率も8割を超えることができました。	狂犬病予防注射接種率	84.9	85.2	85.8	87.1	85.9

6 施策の総合評価（主たる担当部局）

老朽化した青森市斎場の建て替えに向け、青森市斎場建替基本計画を策定し、PFI等導入可能性調査による検討の結果、事業手法をDBO（公設民営）方式として、総合評価落札方式一般競争入札を公告しました。

三内霊園、月見野霊園、八甲田霊園、浪岡墓園の適切な管理運営を図り、利用環境の維持に努めました。

食品関係事業者に対する監視指導や講習会・届出窓口での指導等を通じ、衛生知識の普及や具体的な助言・指導に努めており、令和4年度は食中毒事件の発生がなかったことから、目標に到達しました。

飼い犬の引取りに係る相談、所有者不明の子猫の引取りに関する相談が前年度と比べ少なく、犬・猫の引取数の実績も減少しましたが、生活困窮者や単身高齢者による多頭飼育に関しての相談が増加しており、適正飼養・終生飼養等、ペットの愛護意識の高揚に向け、一層取り組んでいく必要があります。

狂犬病予防注射は令和4年度も8割を超える接種率を達成し、狂犬病予防に繋がっていることから、施策の方向性に寄与しています。

7 課題及び目指すべき方向性（主たる担当部局）

（課題）

市民並びに事業者に対する食品衛生知識の普及や衛生監視による指導及び生活衛生施設等に対する監視・指導を継続し、衛生的な生活環境の確保を図る必要があります。

犬・猫引取頭数は昨年度より減少したものの、生活困窮者や単身高齢者による多頭飼育に関しての相談が増加しており、地域や関係部局と連携しペットの愛護意識を高め適正飼養・終生飼養の啓発を一層強化していく必要があります。

（目指すべき方向性）

食品衛生対策や生活衛生対策を推進するとともに、犬や猫をはじめとするペットへの愛護意識の高揚を図ることなどにより、衛生的な生活環境を確保します。

### 1 施策の基本情報

基本政策	第6章	かがやく街	主たる担当部局 環境部 関連部局 -
政策	第3節	廃棄物対策の推進	
施策	第1項	ごみの減量化・リサイクルの強化	

### 2 施策の方向性（前期基本計画の抜粋）

家庭や事業所から出るごみの減量化・資源化に向けた効果的な対策、意識啓発強化を推進します。

### 3 前期基本計画 目標値に対する実績値の状況

指標①	指標の説明	方向	基準値	H30	R1	R2	R3	R4	R5	
市民1人1日当たりのごみ排出量	ごみの排出量を市民1人1日当たり換算した量	-	H29 1,041 g	目標値		1,019	1,009	998	987	976
				実績値	1,035	1,038	1,018	1,023	1,022*1	
分析	市民1人1日当たりのごみ排出量（速報値）は1,022gとなり、目標値を下回りました。 *1 速報値			達成度評価	B					

指標②	指標の説明	方向	基準値	H30	R1	R2	R3	R4	R5	
リサイクル率	一般廃棄物の総排出量に占める資源化量の割合	+	H29 16.4 %	目標値		17.4	18.0	18.5	19.1	19.6
				実績値	14.9	14.7	14.3	14.4	13.8*2	
分析	リサイクル率（速報値）は13.8%となり、目標値を下回りました。 *2 速報値			達成度評価	C					

指標③	指標の説明	方向	基準値	H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値					
				実績値					
分析				達成度評価					

### 4 市民意識調査

項目	割合 (%)				
必要な分だけ買う	51.9				
詰め替え商品を選ぶ	64.2				
マイバック(買い物袋)を持参する	87.8				
過剰包装は断る	37.2				
コンビニなどで割り箸などを断る	35.9				
生ごみを減らす	31.1				
リターナブル容器を選ぶようにする	17.3				
まだ使えるものはリサイクル店などに持ち込む	26.9				
資源ごみはきちんと分別する	79.4				
スーパーなどの店頭回収に協力する	39.9				
町(内)会などの集団回収に協力する	47.2				
取り組んでいない	1.0				
その他	0.4				
無回答	1.3				
区分	R1	R2	R3	R4	R5
必要な分だけ買う	47.8	49.0	52.4	48.2	51.9
詰め替え商品を選ぶ	64.3	61.9	62.4	61.9	64.2
マイバック(買い物袋)を持参する	79.3	85.4	88.6	88.0	87.8
過剰包装は断る	34.0	32.8	33.5	34.3	37.2
コンビニなどで割り箸などを断る	29.8	33.1	31.0	35.7	35.9
生ごみを減らす	32.6	29.7	31.1	28.3	31.1
リターナブル容器を選ぶようにする	19.1	18.7	19.1	16.7	17.3
まだ使えるものはリサイクル店などに持ち込む	30.0	27.6	30.2	28.3	26.9
資源ごみはきちんと分別する	80.6	77.3	80.5	79.8	79.4
スーパーなどの店頭回収に協力する	38.3	38.1	40.4	38.8	39.9
町(内)会などの集団回収に協力する	46.7	48.5	48.1	47.5	47.2
取り組んでいない	1.5	1.4	1.7	1.4	1.0
その他	0.8	0.5	0.9	0.5	0.4
無回答	0.3	1.2	1.3	1.2	1.3

## 5 主要な事業の成果（令和4年度）

主要事業名	決算額 (千円)	成果の説明	評価指標	実績値				
				H30	R1	R2	R3	R4
分別収集推進事業	416,113	資源ごみの資源化量は減少傾向にありますが、R4年度は6,766トンの資源化が図られています。	資源ごみ資源化量 単位 トン	7,333	7,082	7,002	6,888	6,766
有価資源回収団体活動奨励事業	15,505	回収量は減少傾向にありますが、集団回収を実施した団体に対して継続的に奨励金を交付することにより、集団回収量が3,974トンとなり、ごみの減量化・資源化が図られています。	集団回収量 単位 トン	4,954	4,706	4,170	4,129	3,974
ごみ問題対策・市民啓発事業	12,553	市民のごみに関する問題意識を喚起し、ごみ出しルールの遵守とマナーの向上、ごみの減量化・資源化を継続的に行うことにより、市民1人1日当たりのごみ排出量は減少し、ごみの減量化が図られています。 *1 速報値	市民1人1日当たりのごみ排出量 単位 ｇ	1,035	1,038	1,018	1,023	1,022 <sup>*1</sup>
生ごみリサイクル推進事業	75	令和4年度は22名に対して生ごみ処理機購入費の一部助成を行い、60名に対して段ボールコンポストについての講習を実施し、可燃ごみの排出量削減が図られています。	生ごみ処理機購入費助成金助成件数 単位 件	30	22	19	25	22
			単位					
			単位					
			単位					
			単位					
			単位					

## 6 施策の総合評価（主たる担当部局）

市民1人1日当たりのごみ排出量の指標については、分別収集推進事業をはじめとした各事業を実施してきた結果、ごみの総排出量は減少したものの、目標値を下回りました。また、リサイクル率の指標については、目標値を下回りました  
市民意識調査については、「生ごみを減らす」と回答した割合が30%を超えるなど、7項目が前年度を上回りました。一方、「資源ごみはきちんと分別する」「町（内）会などの集団回収に協力する」と回答した割合が減少するなど、6項目が前年度を下回りました。

## 7 課題及び目指すべき方向性（主たる担当部局）

（課題）

「市民1人1日当たりのごみ排出量」「リサイクル率」いずれの指標も目標を達成していません。

（目指すべき方向性）

今後も継続的にごみの減量化・資源化に資する施策を展開する必要があると考えます。  
とりわけ、リサイクル率の向上のため、市民意識の醸成が求められます。

### 1 施策の基本情報

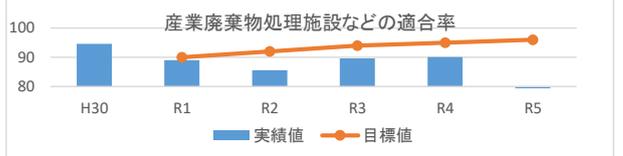
基本政策	第6章	かがやく街	主たる担当部局 環境部 関連部局 浪岡振興部
政策	第3節	廃棄物対策の推進	
施策	第2項	適正な廃棄物処理の確保	

### 2 施策の方向性（前期基本計画の抜粋）

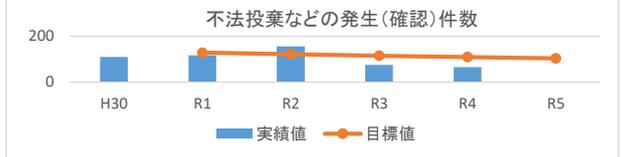
不法投棄をなくすため、関係機関と連携しながら、不法投棄をさせないための環境づくりや廃棄物の適正処理に関する啓発活動を積極的に推進します。

### 3 前期基本計画 目標値に対する実績値の状況

指標①	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5	
産業廃棄物処理施設などの適合率	立入検査において、適正処理を確認できた産業廃棄物処理業者や事業用施設の割合	+	H29	95.7	%	目標値	90.0	92.0	94.0	95.0	96.0
						実績値	94.6	89.0	85.6	89.6	90.1
分析	産業廃棄物処理施設などの適合率は90.1%となり、目標値を下回りました。			達成度評価	B						



指標②	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5	
不法投棄などの発生（確認）件数	一般廃棄物及び産業廃棄物などについて、新たな不法投棄や野焼きなどの不適正処理が確認された件数	-	H29	140	件	目標値	128	122	115	109	104
						実績値	109	116	156	75	65
分析	不法投棄などの発生（確認）件数は65件となり、目標値に達しました。			達成度評価	A						

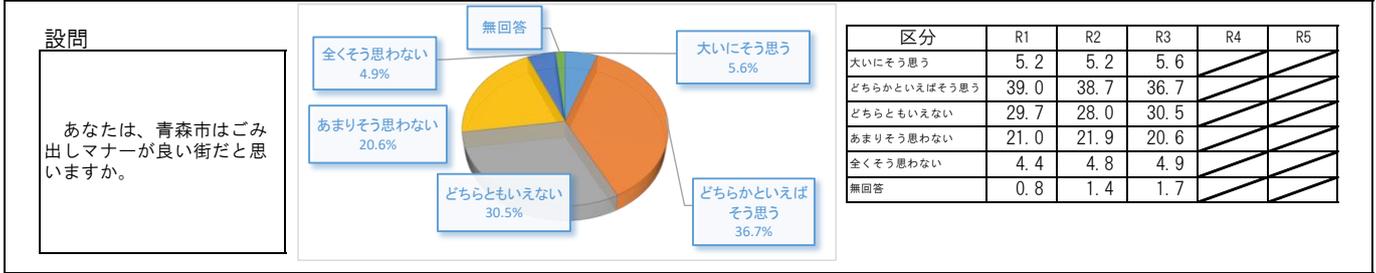


指標③	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
					目標値					
					実績値					
分析				達成度評価						

指標④	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
					目標値					
					実績値					
分析				達成度評価						

指標⑤	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
					目標値					
					実績値					
分析				達成度評価						

4 市民意識調査



5 主要な事業の成果（令和4年度）

主要事業名	決算額 (千円)	成果の説明	評価指標	実績値				
				H30	R1	R2	R3	R4
不法投棄防止対策事業（一般廃棄物）	2,161	令和2年度から、市職員による監視パトロールを強化し、一般廃棄物の不法投棄等の新規発生（確認）件数が大きく増加しましたが、令和4年度は65件と減少しました。	不当投棄発生件数（一般廃棄物） 単位：件	109	112	155	75	65
清掃工場運営管理事業（施設運営）	361,476	一般廃棄物を適正に処理するため、清掃工場内にスプレー缶類を安全に破砕処理するための装置を設置するなど、青森市清掃工場の効率的な運営・管理を行いました。	スプレー缶破砕処理装置の導入進捗率 単位：%	-	-	100	100	100
産業廃棄物適正処理指導事業	2,995	「産業廃棄物に関わる立入検査及び指導の強化について（平成20年環境省産業廃棄物課長通知）」に基づき、産業廃棄物処理業者の適正処理の促進を図るため、立入検査を行った結果、全ての処理事業者が法令等に則した処理を行っていました。	産業廃棄物処理業者の立入検査適合率 単位：%	100	100	100	100	100
不法投棄防止対策事業（産業廃棄物）	1,564	令和4年度における産業廃棄物の不法投棄等の新規発生（確認）は0件でした。	不当投棄発生件数（産業廃棄物） 単位：件	0	4	1	0	0

6 施策の総合評価（主たる担当部局）

清掃ごみ、広報等による啓発活動の実施や市職員による不法投棄監視パトロールの強化により、適正処理の確保に向けて取り組んだ結果、不法投棄などの発生（確認）件数は、令和5年度の目標値である104件を既に下回っており、順調に推移していることから、いずれの事業も施策の方向性である廃棄物の適正処理に寄与しています。

また、産業廃棄物処理事業者・排出事業者への立入検査による監視・指導や意識啓発事業の実施により、適合率向上を目指しましたが、排出事業者の軽微な不適合があり、目標値に達していない状況です。

7 課題及び目指すべき方向性（主たる担当部局）

**（課題）**  
一般廃棄物の不法投棄が、減少傾向ではありながらも、毎年度一定件数が発生している状況であり、産業廃棄物の処理についても不適合が発生しているという施策評価の結果を踏まえ、市民向けの啓発活動と事業者向けの意識啓発と指導を継続していく必要があります。

**（目指すべき方向性）**  
関係機関と連携しながら、不法投棄をさせないための環境づくりや廃棄物の適正処理に関する啓発活動など廃棄物対策を推進します。

